

# 熊本県の地域医療における現状・課題

第1回熊本県地域医療対策協議会(7/2開催)資料を一部再掲

掲載データについては今後、可能な限り最新データを反映

## 1. 県内の医療施設従事医師数

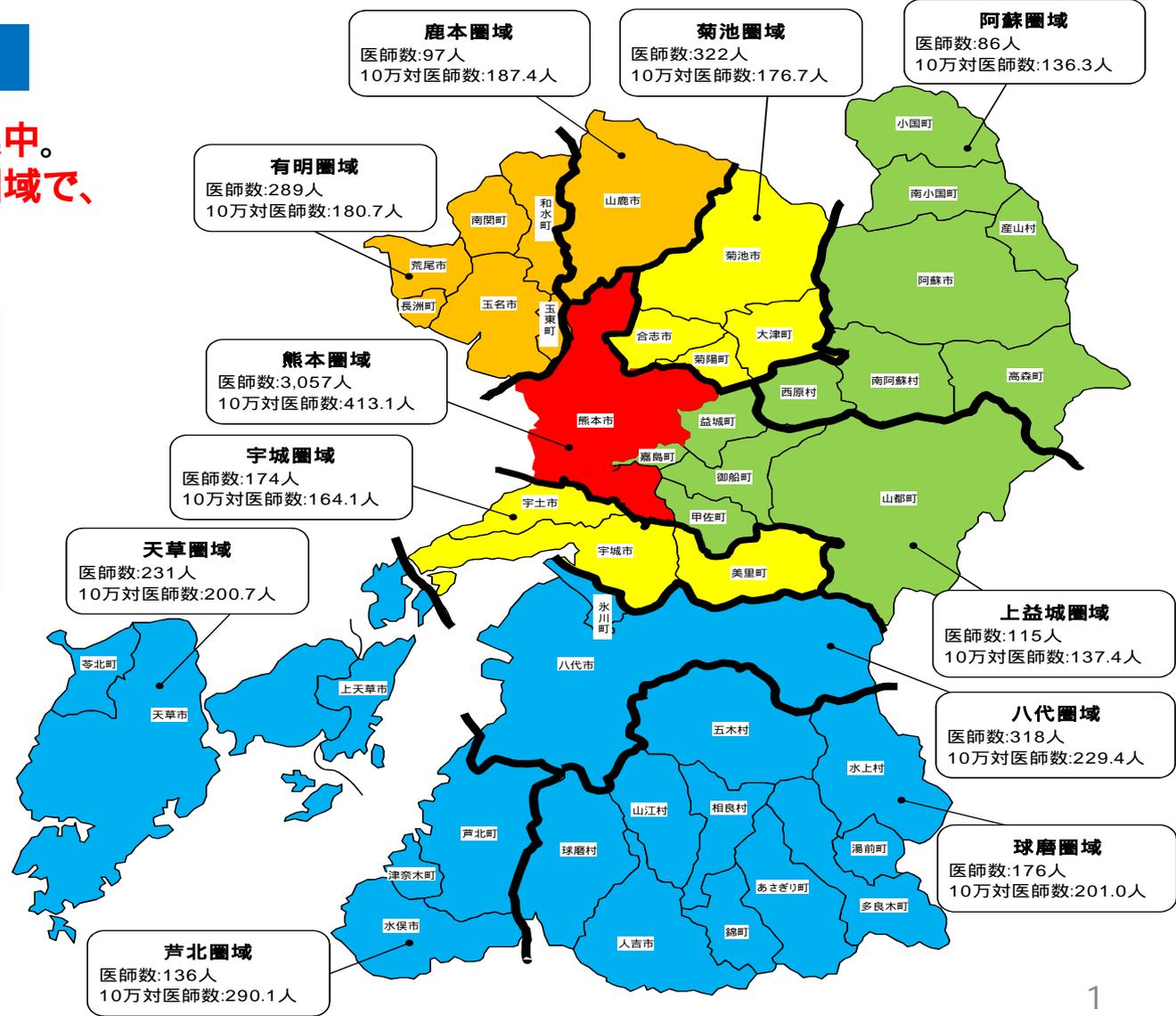
本県の医師の約6割が熊本市に集中。  
 「熊本」及び「芦北」を除く9圏域で、  
 全国平均を下回っている。

熊本県の医師数(実数): 5,001人

<人口10万人当たりの医師数>

熊本県 : 281.9人  
 熊本市外 : 187.8人  
 全国 : 240.1人

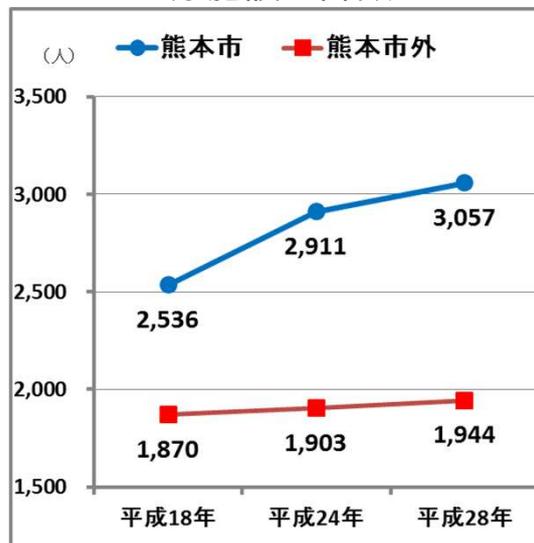
人口10万人当たりの医師数



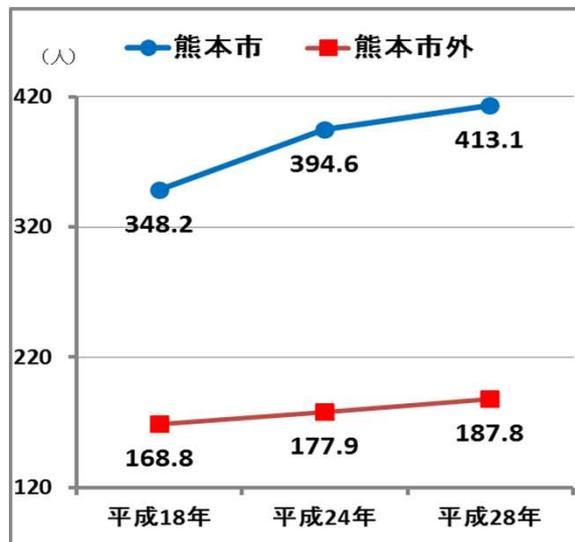
## 2. 県内の医療施設従事医師数の推移 (H18 H28)

- 熊本市内の医師が521人増加したのに対し、熊本市外の医師は74人の増加。
- 人口10万対医師数は、熊本市内は64.9人増加したのに対し、熊本市外は19.0人の増加に留まる。

医療施設医師数



人口10万対医療施設医師数



(単位: 人)

圏域	平成18年	平成24年	平成28年	平成18年	平成28年
				増減数	増減率
全国	206.3	226.5	240.1	33.8	16.4%
熊本県	240.0	266.4	281.9	41.9	17.5%
熊本・上益城	468.1	530.7	550.5	82.4	17.6%
熊本市	348.2	394.6	413.1	64.9	18.6%
上益城郡	119.9	136.1	137.4	17.5	14.6%
宇城	145.8	167.3	164.1	18.3	12.6%
有明	169.8	167.9	180.7	10.9	6.4%
鹿本	165.9	175.5	187.4	21.5	13.0%
菊池	166.2	175.6	176.7	10.5	6.3%
阿蘇	113.3	121.2	136.3	23.0	20.3%
八代	194.8	205.5	229.4	34.6	17.8%
芦北	251.2	266.1	290.1	38.9	15.5%
球磨	179.4	179.6	201.0	21.6	12.0%
天草	182.8	196.5	200.7	17.9	9.8%
熊本市外	168.8	177.9	187.8	19.0	11.3%

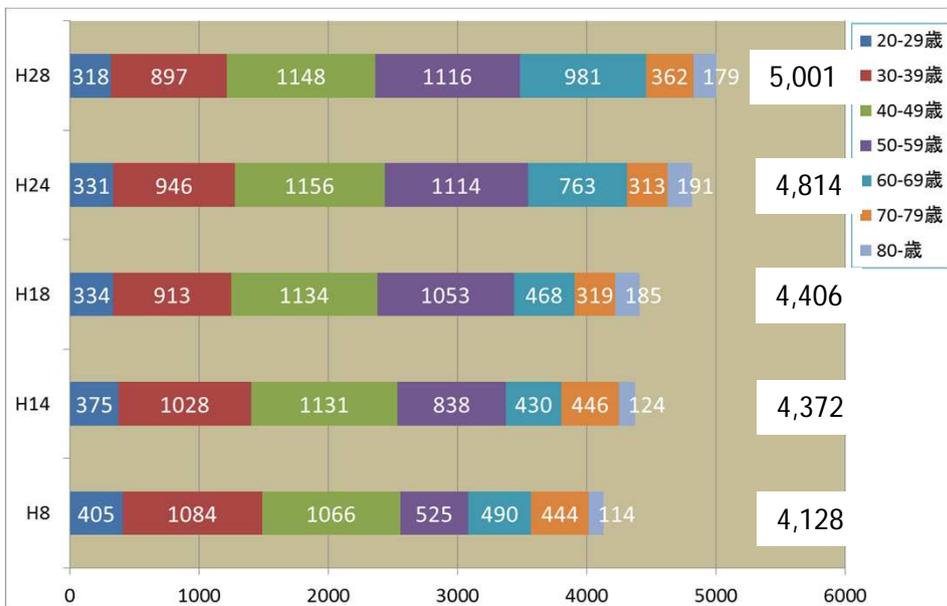
【厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」を基に熊本県医療政策課作成】

# 熊本県の地域医療における現状・課題

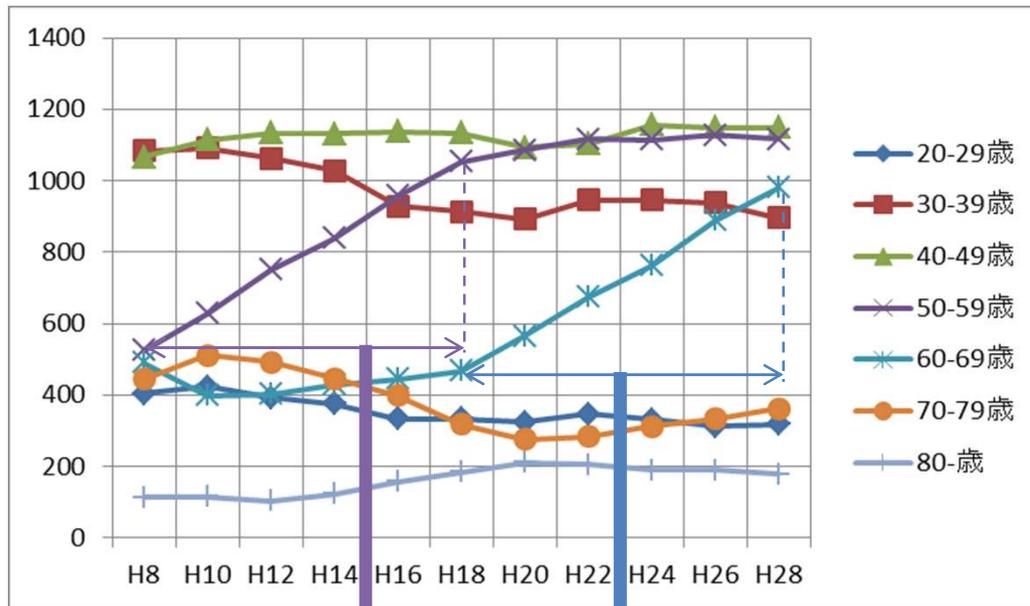
## 3. 県内の医療施設従事医師数の推移(年齢構成別)

- 平成8～28年にかけて、本県の医師総数は増加。主な要因は50、60歳台の医師の増。
- 20、30歳台の医師は平成8～16年にかけて減少し、その後横ばい。

医師数の推移(平成8年～28年)



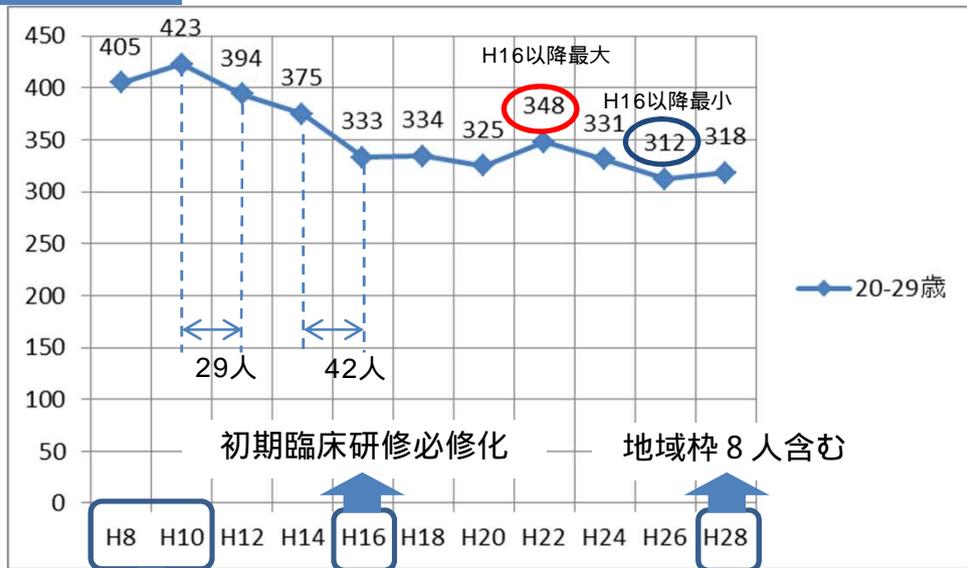
年齢構成別医師数の推移(平成8年～28年)



無医大県解消構想など、昭和30～50年代の医学部恒久定員数増の影響あり

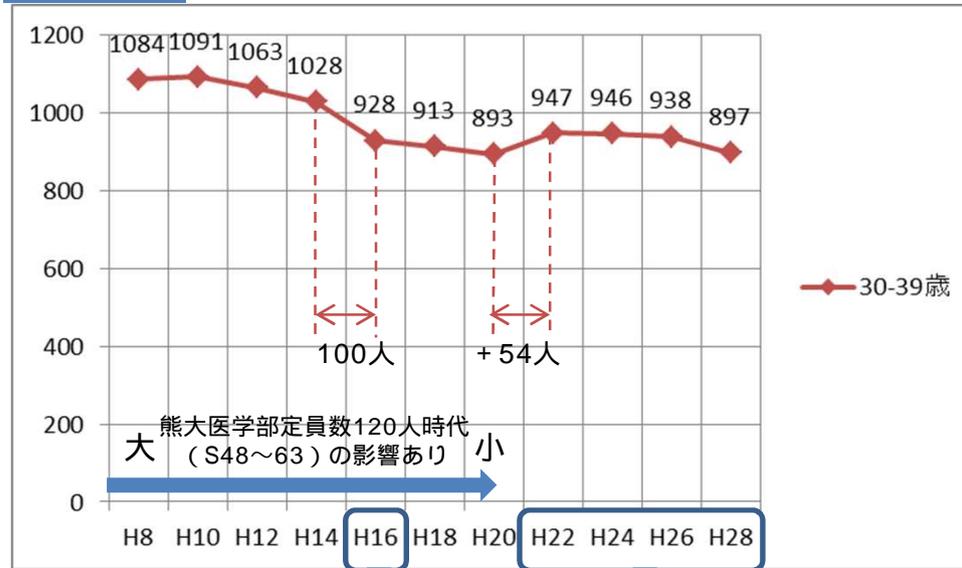
# 【参考】若年層（20代、30代）の医師の推移

## 20-29歳台



熊大医学部定員数120人時代 (S48~S63) の影響あり

## 30-39歳台



初期臨床研修必修化 必修化後の初期臨床研修に従事

## 20歳代の医師が30歳代になったときの医師数の推移

	20-29歳	30-39歳	増加率 ( / )
H8 H18	405	913	2.25
H10 H20	423	893	2.11
H12 H22	394	947	2.40
H14 H24	375	946	2.52
H16 H26	333	938	2.82
H18 H28	334	897	2.69

最少

最大

通常医師免許取得は25歳以降のため、20歳代から30歳代では2倍程度の増加が基本

H16以降、増加率が拡大

## 30歳代の医師が40歳代になったときの医師数の推移

	30-39歳	40-49歳	増加率 ( / )
H8 H18	1084	1134	1.05
H10 H20	1091	1094	1.00
H12 H22	1063	1103	1.04
H14 H24	1028	1156	1.12
H16 H26	928	1149	1.24
H18 H28	913	1148	1.26

最少

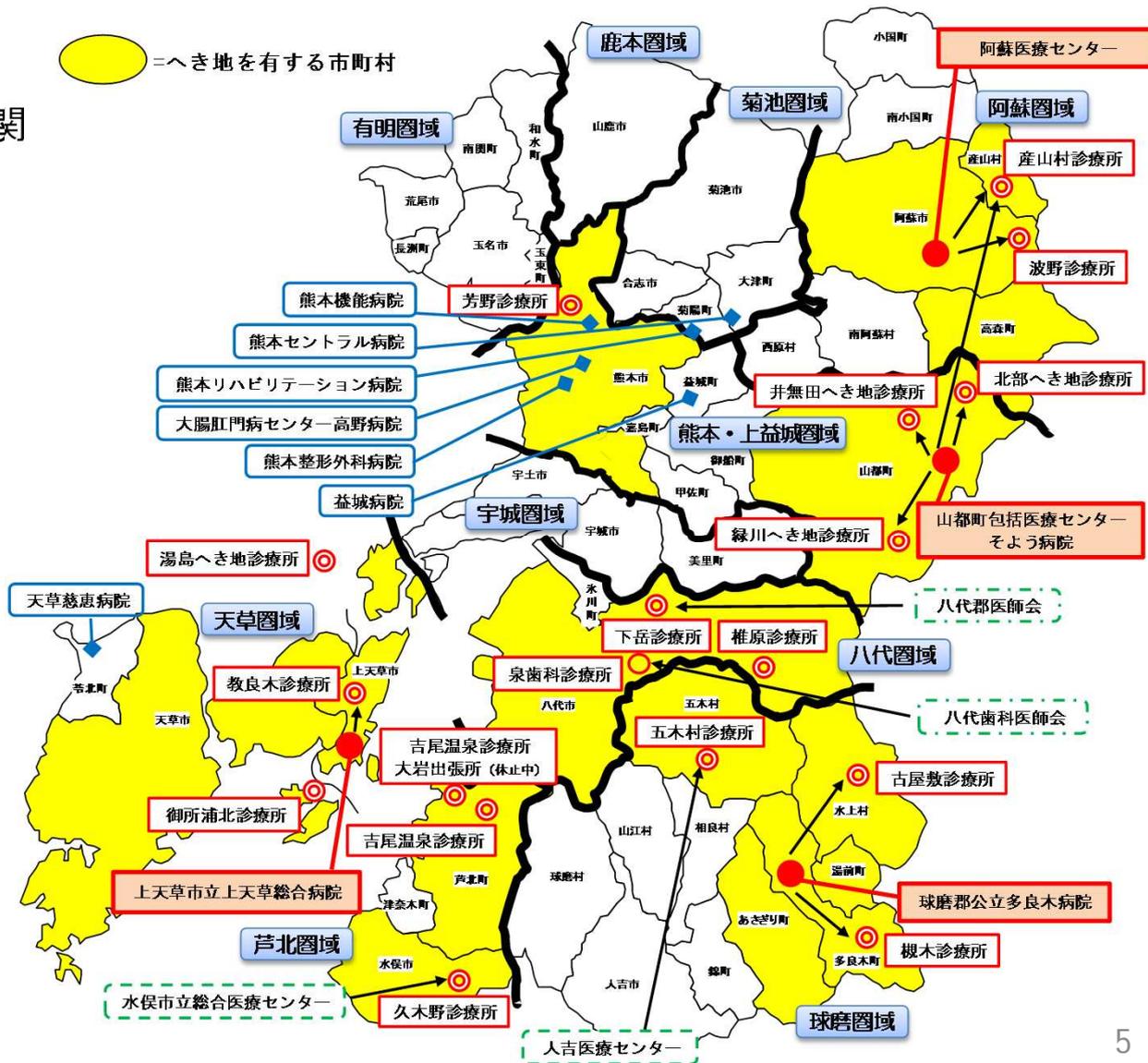
最大

H16以降、増加率が拡大

## 4. へき地診療所の現状

多くのへき地診療所が、他の医療機関からの医師派遣を受けている。

- へき地診療所
- へき地歯科診療所
- へき地医療拠点病院
- へき地医療支援病院



## 5. 県内の二次救急を担う医療機関の現状

- 二次救急を担う医療機関では、常勤医1人あたり年間9人～109人の救急患者に対応
- 8病院において、他の二次救急病院へのアクセス時間が30分超。

県内の二次救急病院の状況

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急病院へのアクセスが30分超
			常勤医一人あたり患者数		
熊本・上益城 (上益城)	山都町包括医療センター そよう病院	4	320	80	
宇城	宇城総合病院	20	1,327	66	
	済生会みすみ病院	11	797	72	
	熊本南病院	16	436	27	
	宇城市民病院	2	47	24	
有明	公立玉名中央病院	70	2,531	36	
	荒尾市民病院	49	1,860	38	
	和水町立病院	4	140	35	
	玉名地域保健医療センター	8	144	18	
鹿本	山鹿市民医療センター	27	1,004	37	
	山鹿中央病院	12	359	30	
	保利病院	6	512	85	
	三森循環器科・呼吸器科病院	2	108	54	
菊池	熊本再春医療センター	44	1,566	36	
	川口病院	7	670	96	
	熊本セントラル病院	28	854	31	
	菊池中央病院	7	161	23	
	菊陽台病院	5	80	16	
	熊本リハビリテーション病院	23	289	13	
	菊池都市医師会立病院	9	302	34	
	岸病院	1	9	9	
阿蘇	阿蘇医療センター	9	896	100	
	小国公立病院	8	283	35	
	阿蘇温泉病院	12	143	12	
	大阿蘇病院	6	125	21	
	阿蘇立野病院	2	100	50	

圏域名	施設名	常勤医師数 (H30.7.1現在)	救急搬送車による搬送受入患者数 (H29.4.1～H30.3.31)		他の二次救急病院へのアクセスが30分超
			常勤医一人あたり患者数		
八代	熊本労災病院	87	3,815	44	
	熊本総合病院	62	2,782	45	
	八代北部地域医療センター	4	105	26	
芦北	国保水俣市立総合医療センター	49	1,393	28	
	岡部病院	6	108	18	
球磨	人吉医療センター	53	2,962	56	
	球磨郡公立多良木病院	14	1,024	73	
	外山胃腸病院	4	435	109	
	球磨病院	10	160	16	
天草	天草地域医療センター	32	1,715	54	
	上天草総合病院	13	505	39	
	天草中央総合病院	15	481	32	
	牛深市民病院	4	315	79	
	天草第一病院	17	489	29	
	天草慈恵病院	5	191	38	
	河浦病院	4	227	57	
	新和病院	3	47	16	
	栖本病院	2	40	20	
	苓北医師会病院	3	78	26	

## 6. 女性医師の増加

- 本県の平成28年の医師全体に占める女性医師の割合は18%、39歳以下の若年層では31.4%。
- 全国の大学医学部生の約47%が女性。（文部科学省「平成28年学校基本調査」）
- 本県の自治医科大学の卒業医師・学生、医師修学資金の貸与医師・学生の女性割合は約40%。
- 出産や育児を契機として離職する傾向。今後、女性医師の割合は更に高くなる見込み。

県内の男女別の・医師数 (全体)



県内の男女別・医師数 (39歳以下)



【厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」を基に熊本県医療政策課作成】

熊本県自治医科大学卒業医師・学生、  
熊本県医師修学資金貸与医師・学生  
の男女別人数 (H30.4.1現在)

	男	女	計
自治医科大学卒業医師 (県職員)	12	8	20
割合	60%	40%	
自治医科大学医学部在学学生	10	6	16
割合	63%	38%	
熊本県医師修学資金貸与医師	16	7	23
割合	70%	30%	
熊本県医師修学資金貸与在学学生	28	20	48
割合	58%	42%	

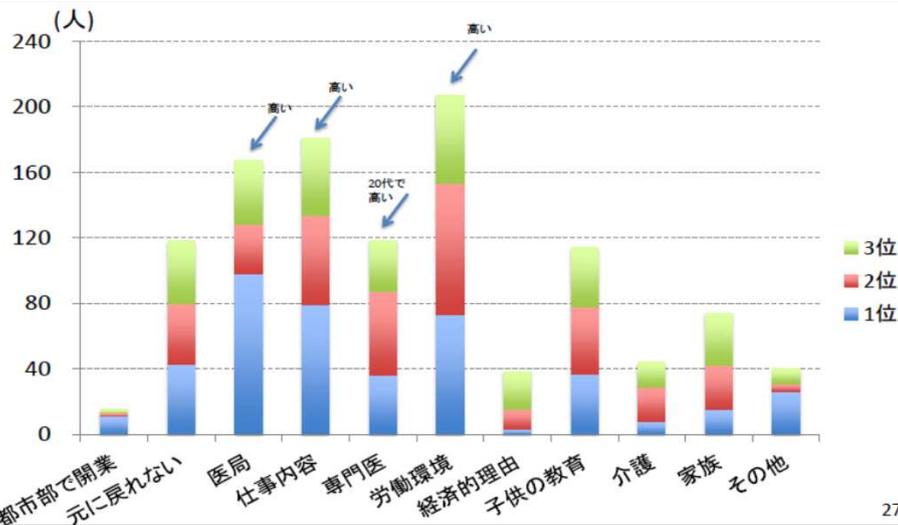
【熊本県医療政策課作成】

## 7. 地域勤務医師の負担増及び専門医取得に対する不安

- 全国的に地域で勤務する意思がある医師は一定数存在するものの、医師が少ない医療機関では夜間や休日の当直等の負担が大きく、自己研さんや家族と過ごす時間の確保もままならない状況。
- また、全国的な傾向として、20代では地域勤務を敬遠する理由の上位に「専門医取得への不安」がある。

地方( )で勤務する意思がない理由 (20代)

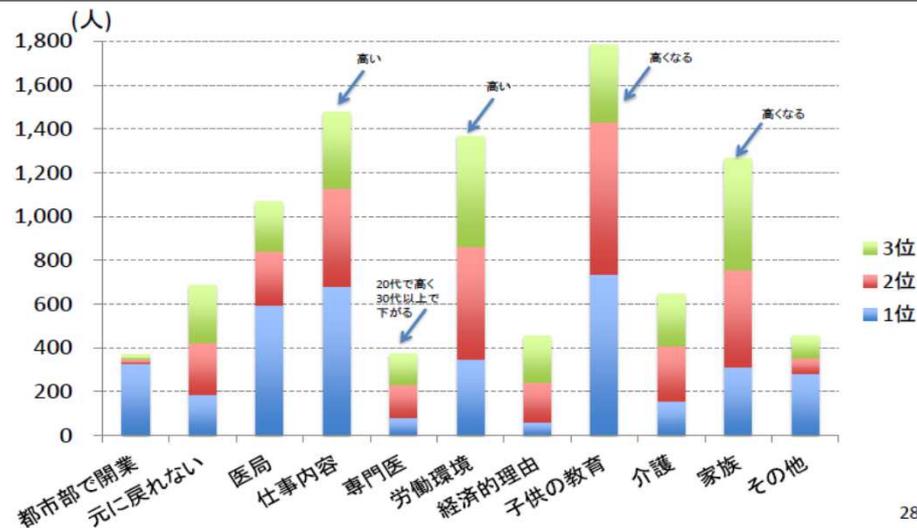
○ 20代医師で地方で勤務する意思がない理由の上位は、労働環境への不安、希望する内容の仕事ができないこと、医局の人事のため選択の余地がないこと。また、専門医の取得に不安があることもこの世代に特徴的な上位の理由。



27

地方で勤務する意思がない理由 (30・40代)

○ 30・40代医師で地方で勤務する意思がない理由の上位は、子供の教育環境が整っていないことや家族の理解が得られないこと。また、希望する内容の仕事ができないこと、労働環境への不安は依然として上位の理由だが、専門医の取得への不安は理由として少ない。



28

( ) 地方: 東京23区及び政令指定都市、県庁所在地等の都市部以外

# 熊本県の地域医療における現状・課題

## 8. 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 1 医療機関当たりの医師総数に占める非常勤医の割合は1割超。
- 常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数は、200床未満の二次救急病院が最も多い。

医療機関の状況【県全体・1医療機関当たり平均】

		常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)	新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)		
				非常勤医 の割合	常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり	
規模別	病院(200床以上)	57.0	10.9	16%	6,105	107	6,182	109	1,942	34
	病院(200床未満)	6.1	1.8	23%	899	146	804	131	129	21
	有床診療所	1.4	0.3	15%	155	111	154	110	3	2
医療機能別	三次救急病院	223.3	68.5	23%	20,557	92	20,270	91	6,981	31
	二次救急病院	26.4	5.6	18%	3,180	121	3,333	126	931	35
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.4	0.3	16%	138	98	261	185	6	4
クロス	200床以上かつ二次救急病院	67.3	12.9	16%	7,404	110	7,575	112	2,390	35
	200床未満かつ二次救急病院	8.0	2.4	23%	1,287	161	1,432	179	277	35

# 熊本県の地域医療における現状・課題

## 9. 特定医療従事医師数

- 県内で特定医療機関（ ）に従事する医師数は、述べ38人（6医療機関）。
- 当該医師数を控除すると、県内の医療施設従事医師数は5,001人から4,963人に減少する。

特定医療機関：重症心身障がいや水俣病など、特定の疾患を対象として診療を行う医療機関  
（対象者が特定されており、地域の一般住民がほとんど利用することのない医療機関）

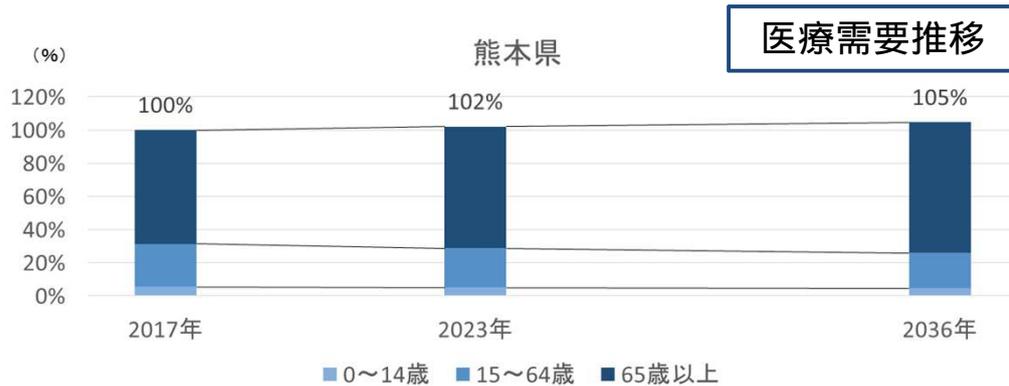
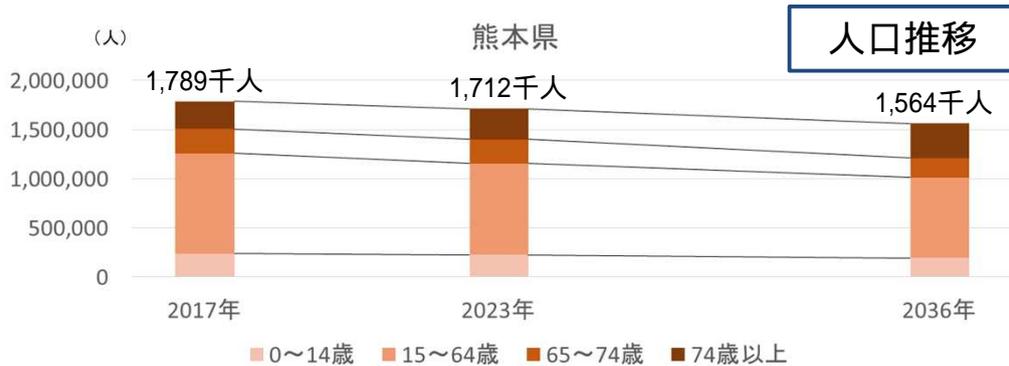
二次医療圏名	医療施設		特定医療		地域医療		対象医療機関 (括弧内は常勤医師数)
	従事医師数 (A)	医師偏在 指標	従事医師数 (B)	特定医療 機関数	従事医師数 (A) - (B)	医師偏在 指標	
県全体	5,001	252.2	38	6	4,963	250.3	-
熊本・上益城	3,172	339.5	6	1	3,166	338.9	くまもと江津湖療育センター（6人）
宇城	174	145.2	7	1	167	139.4	熊本県こども総合療育センター（7人）
菊池	322	166.7	12	1	310	160.4	菊池恵楓園（12人）
芦北	136	223.0	11	2	125	205.0	水俣市立明水園（3人） くまもと芦北療育医療センター（8人）
天草	231	157.7	2	1	229	156.4	はまゆう療育園（2人）

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」、「平成30年度病床機能報告」を基に熊本県医療政策課作成】

# 熊本県の地域医療における将来推計

## 1. 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、県全体では人口は減少傾向にあるものの、医療需要は増加傾向。
- ただし、圏域ごとに見ると、2036年に向けて医療需要が増加又は現状維持となるのは熊本・上益城、宇城及び菊池圏域のみ。



二次医療圏名	医療需要の推移 (2017年を100%)	
	2023年	2036年
県全体	102%	105%
熊本・上益城	108%	118%
宇城	101%	100%
有明	98%	92%
鹿本	96%	90%
菊池	107%	121%
阿蘇	98%	93%
八代	97%	92%
芦北	94%	83%
球磨	95%	87%
天草	94%	84%

## 2. 厚生労働省資料に基づく2036年の必要医師数

- 厚生労働省の計算によると、将来時点において、複数の圏域で医師が不足する可能性。

### 将来時点(2036年)における必要医師数

下位:過去の医師増減実績を最小に見積もっても達成できる医師数

上位:過去の医師増減実績を最大に見積もった時の医師数

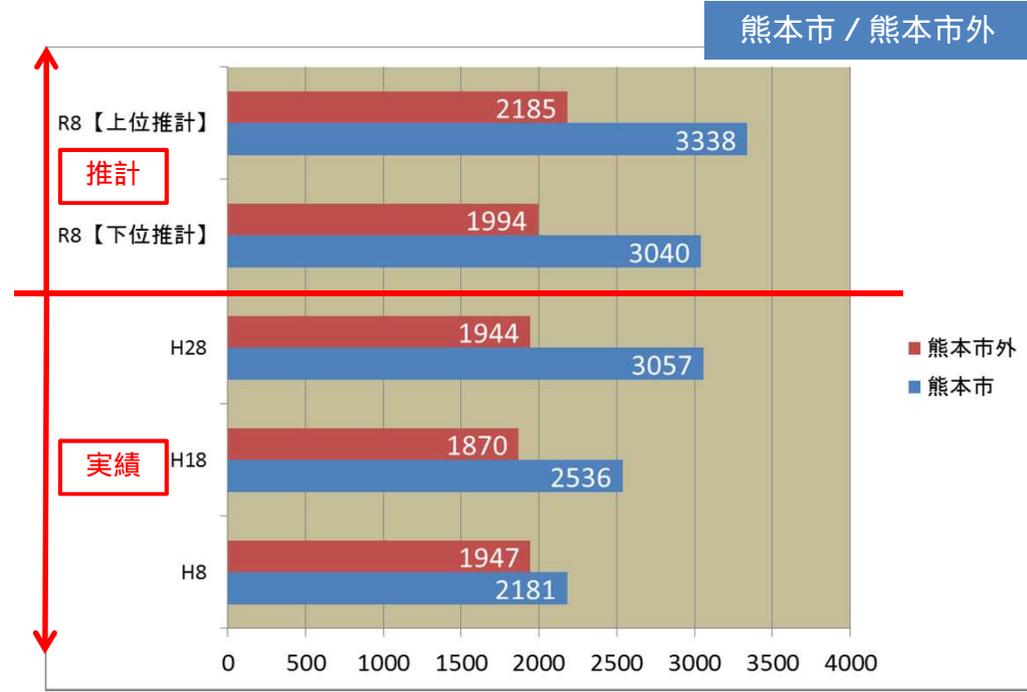
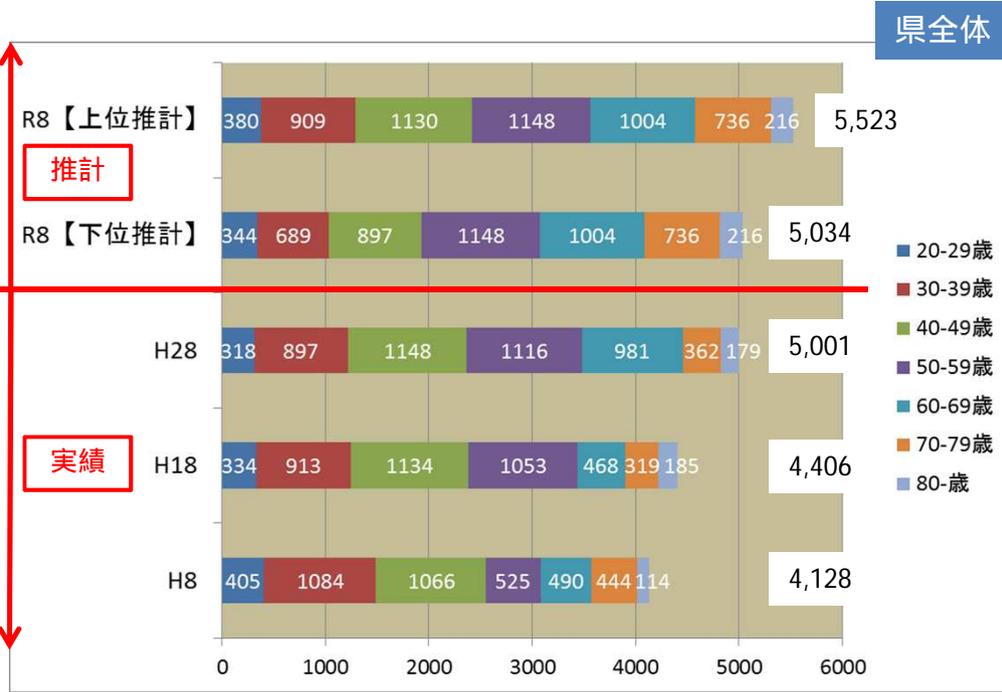
二次医療圏名	2036年				
	必要医師数	供給推計		過剰医師数 ( - )	不足医師数 ( - )
		下位	上位		
熊本県全体	4086	4576	6476	-	-
熊本・上益城	2264	2955	4181	690	-
宇城	289	147	208	-	81
有明	396	253	358	-	38
鹿本	139	87	123	-	17
菊池	500	283	401	-	99
阿蘇	190	75	106	-	84
八代	355	294	416	-	-
芦北	131	125	177	-	-
球磨	241	156	220	-	21
天草	306	202	285	-	21

(厚生労働省 医師需給分科会資料(H31.3.22))

# 熊本県の地域医療における将来推計

## 3. 県内医師数の将来推計

地域枠定員数：令和2年度以降5人

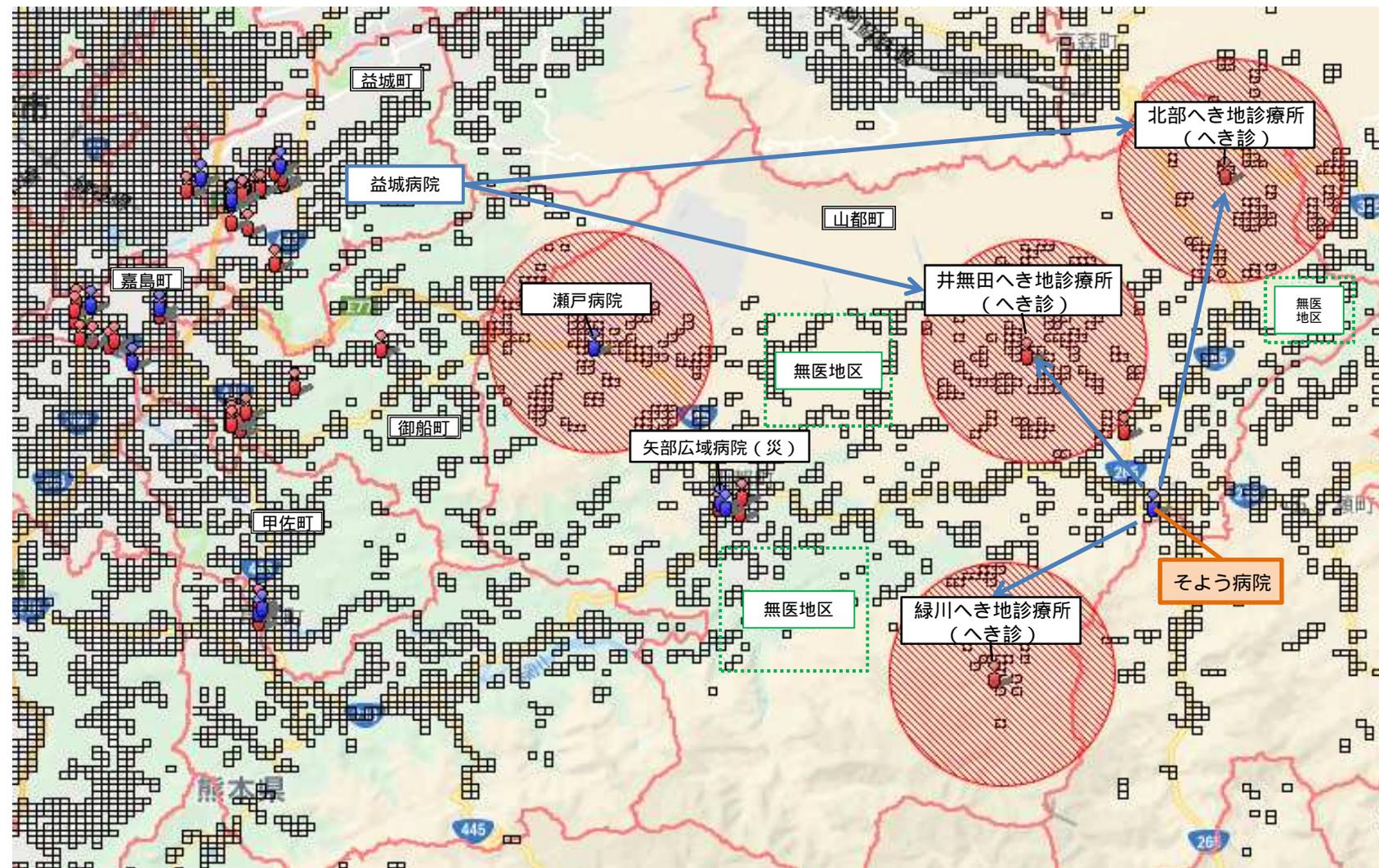


【前提条件】 ～ による推計後、地域枠医師を加算  
 R8の20歳代の医師数について、下位推計は、H16以降最も少ない312人、上位推計はH16以降最も多い348人と仮定  
 R8の30歳代の医師数について、下位推計はH28の20歳代の医師数の2.11倍、上位推計は2.82倍と仮定  
 R8の40歳代の医師数について、下位推計はH28の30歳代の医師数と同数、上位推計は1.26倍と仮定  
 R8の50、60、70、80歳代の医師数は、それぞれH28の40歳代の医師数と同数、50歳代の医師数10%減、60歳代の医師の25%減、70歳代の医師の60%減と仮定

【前提条件】  
 R 8以降の熊本市外で勤務する医師数の割合は39%と仮定  
 (H28三師調査)  
 地域枠医師は熊本市内で初期臨床研修に従事し、その後熊本市外で勤務すると仮定

# < 参考 > 各圏域の現状【熊本・上益城圏域（上益城）】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 半径4km圏内
- へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
- 名称 : 地域医療拠点病院
- その他、名称を記載した医療機関
  - ・ 二次救急病院
  - ・ へき地診療所
  - ・ 災害拠点病院
  - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
- : 医師派遣

# < 参考 > 各圏域の現状【熊本・上益城圏域（上益城）】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口 : 81,768人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 783.96km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 13病院、44診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 115人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

そよう病院【57床 (一般57床)】

医師数 : 常勤医4人

政策医療 : 救急、へき地

病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所 (曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より)

(1) 北部へき地診療所 (木PM (第1、3週のみ)、金PM 患者数:13.3人)

診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

(2) 井無田へき地診療所 (火PM、木 (第2、4週のみ) 患者数:9.3人)

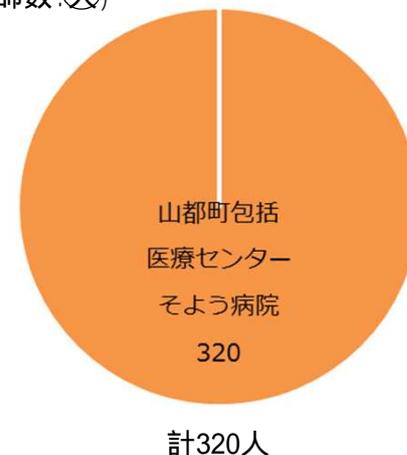
診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

(3) 緑川へき地診療所 (月PM (第2、4週のみ) 患者数:13.3人)

診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

## 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ①)



患者数 : H29.4月 ~ H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数 : H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

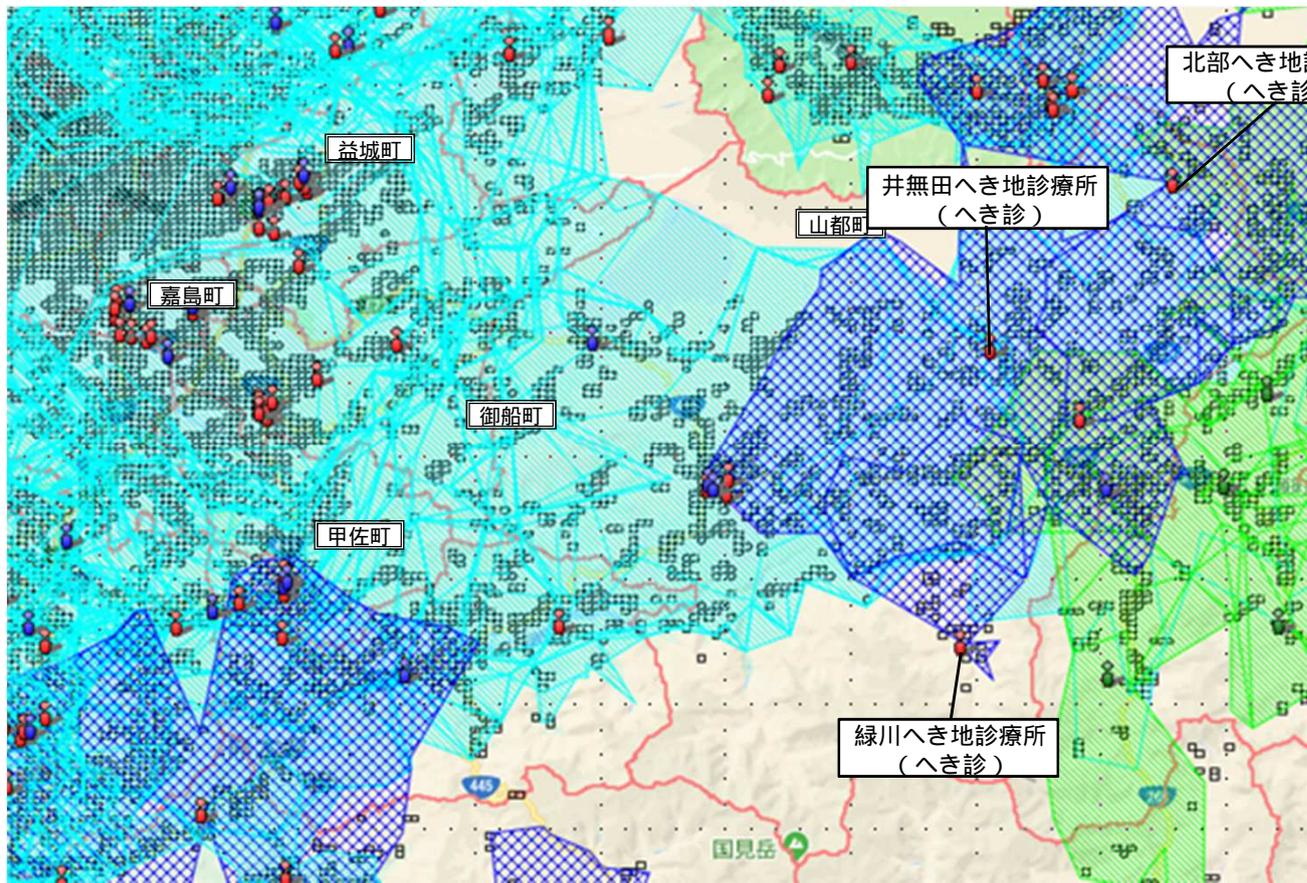
## 【地域の特徴】

- 地域面積783.96km<sup>2</sup>、医療機関数13病院・44診療所、医師数115人。
- へき地診療所 (3診療所) は、他の医療機関から医師派遣を受けている。
- 二次救急を担う病院はそよう病院のみ。



# < 参考 > 各圏域の現状【熊本・上益城圏域（上益城）】

## 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 医療機関(他県)
  - : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
  - : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
  - : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
  - : 人口分布

車30分ではほとんどの住民が医療機関を受診可能。

## ＜参考＞各圏域の現状【熊本・上益城圏域（熊本市）】

### 医師の勤務状況（医療機関規模・医療機能別）

- 県全体の平均と比較して、200床以上の病院の常勤医師数が多いものの、同病院の常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数は大きな差はない。
- 県全体の平均と比較して、200床未満の病院の休日・夜間患者数は少ない。

医療機関の状況【熊本市、1医療機関当たり平均】（括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差）

		常勤医師数		非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)			休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)			救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)		
		数	(差)	数	割合	数	一人当たり	(差)	数	一人当たり	(差)	数	一人当たり	(差)
規模別	病院(200床以上)	82.5	(+25.5)	20.2	20%	8,247	100 ( 7.2)		8,748	106 ( 2.4)		2,502	30 ( 3.8)	
	病院(200床未満)	7.4	(+1.3)	1.7	19%	1,199	161 (+14.9)		565	76 ( 55.0)		124	17 ( 4.3)	
	有床診療所	1.5	(+0.1)	0.3	18%	137	91 ( 20.1)		128	85 ( 25.3)		3	2 ( 0.3)	
医療機能別	三次救急病院	223.3	0.0	68.5	23%	20,557	92 0		20,270	91 0		6,981	31 0	
	二次救急病院	38.5	(+12.2)	9.4	20%	4,285	111 ( 9.4)		4,080	106 ( 20.6)		1,191	31 ( 4.4)	
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.5	(+0.1)	0.3	16%	134	91 ( 6.6)		226	154 ( 31.3)		6	4 ( 0.3)	

## < 参考 > 各圏域の現状【熊本・上益城圏域（上益城）】

### 医師の勤務状況（医療機関規模・医療機能別）

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医 1 人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- また、同病院は医師数の約半数を非常勤医で賄っている。

医療機関の状況【上益城地域、1 医療機関当たり平均】（括弧内は県全体の 1 医療機関当たり平均との差）

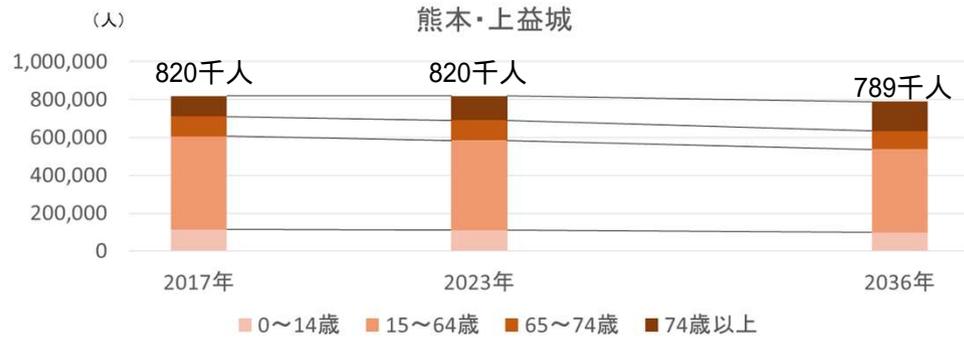
		常勤医師数		非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)	
				非常勤医 の割合		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり	
規模別	病院(200床以上)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院(200床未満)	3.9	( 2.2)	1.4	27%	374	96 ( 50.8)	801	205 (+73.8)	45	11 ( 9.5)
	有床診療所	1.2	( 0.2)	0.2	12%	100	83 ( 27.7)	93	77 ( 32.8)	3	3 (+0.3)
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二次救急病院	4.0	( 22.4)	4.0	50%	654	164 (+42.9)	2,615	654 (+527.3)	289	72 (+37.0)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.4	(+0.0)	0.2	14%	129	90 ( 7.6)	132	93 ( 92.6)	5	3 ( 0.9)

# < 参考 > 各圏域の現状【熊本・上益城圏域】

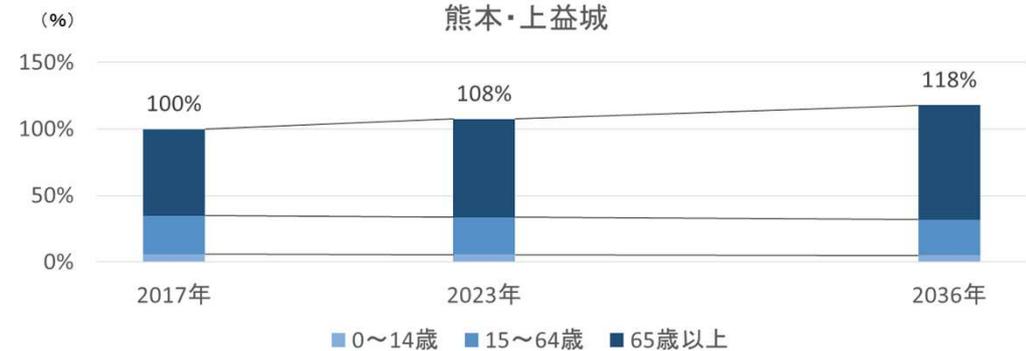
## 人口・医療需要の推移

- 2036年に向けて、人口は減少傾向にあるものの、医療需要は増加傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：26%、2023年：29%、2036年：32%）

### 人口推移



### 医療需要推移



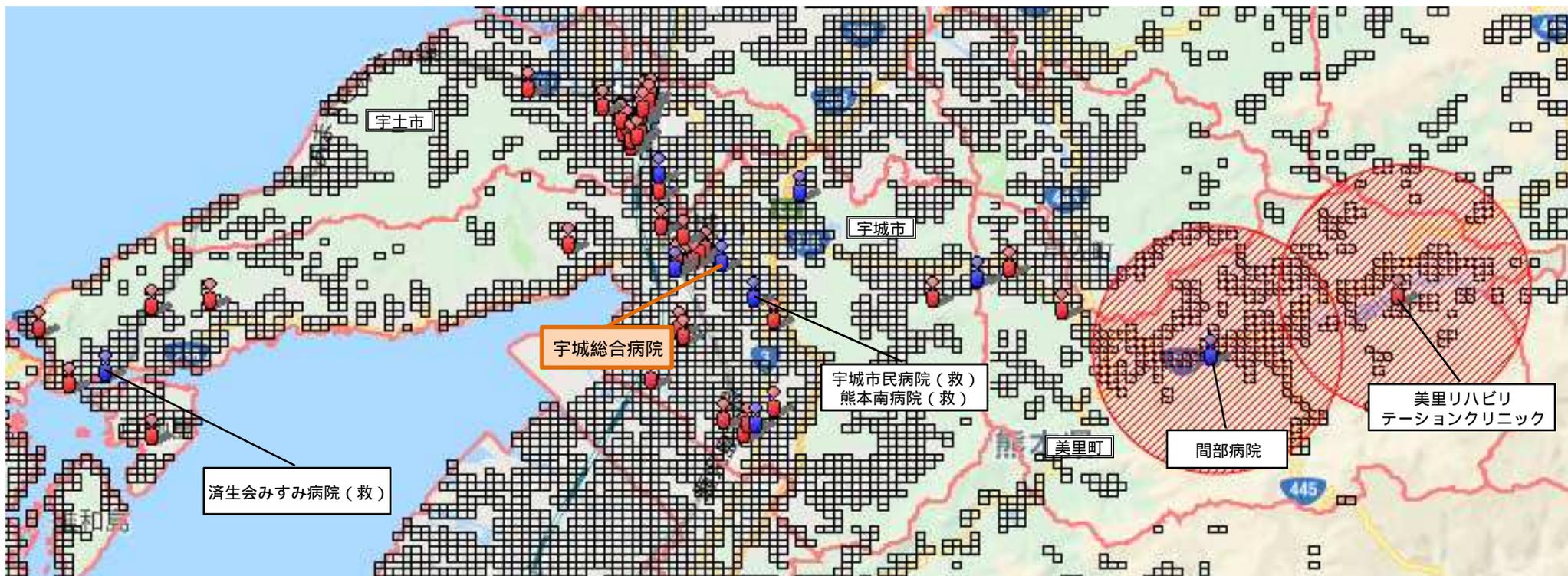
### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	115,193	14%	110,110	13%	99,624	13%
15～64歳	492,083	60%	476,157	58%	437,971	55%
65～74歳	105,092	13%	105,831	13%	97,267	12%
74歳以上	107,692	13%	127,874	16%	154,584	20%
計	820,060	100%	819,973	100%	789,445	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 半径4km圏内
  - へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
  - : 地域医療拠点病院
  - その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
    - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
  - : 医師派遣

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域  
医療対策協議会資料を再掲

### 【基本情報】

人口 : 103,806人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 406.91km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 11病院、58診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
企業や介護老人保健施設内等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 174人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

#### 地域医療拠点病院

(1) 宇城総合病院【204床 (一般200床、感染症4床)】

医師数 : 常勤医20人

政策医療 : 救急、災害、糖尿病、感染症

病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

#### へき地診療所

なし

### 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ①)

宇城市民病院

47

熊本南

病院

436

宇城総合病院

1,327

済生会みすみ

病院 797

計2,607人

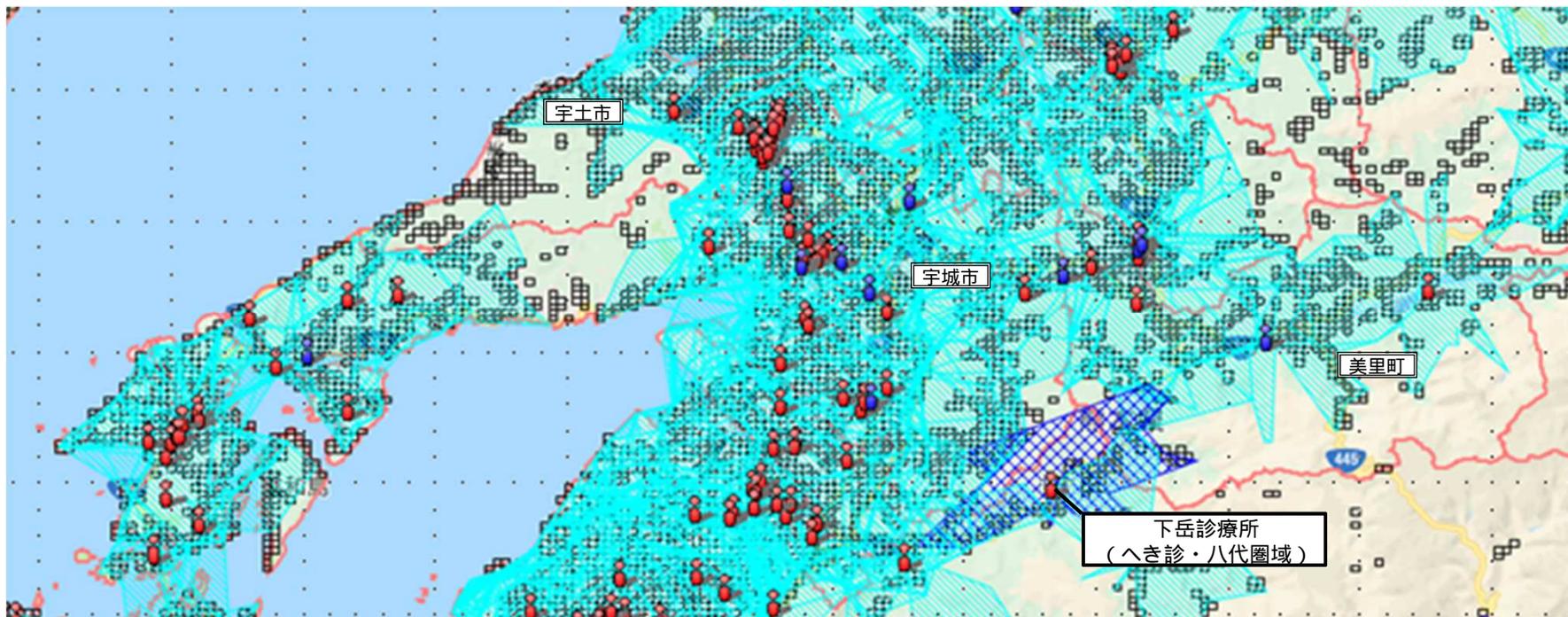
患者数 : H29.4月 ~ H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数 : H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

### 【圏域の特徴】

- 圏域面積406.91km<sup>2</sup>、医療機関数11病院・58診療所、医師数174人。
- へき地診療所なし。
- 宇城総合病院、済生会みすみ病院、熊本南病院で9割以上の二次救急患者を受け入れ。

## < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



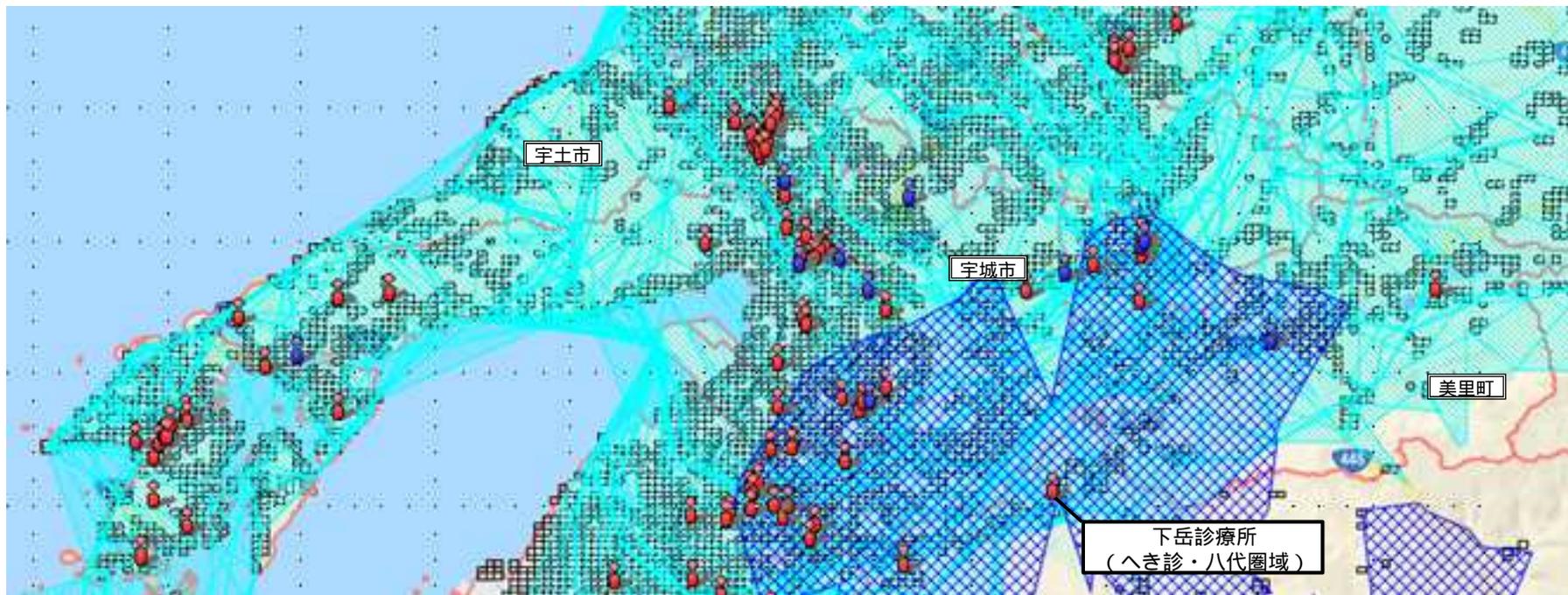
車15分では医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分では全ての住民が医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、有床診療所の新規入院患者数、休日・夜間患者数が多い。

医療機関の状況【宇城圏域、1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

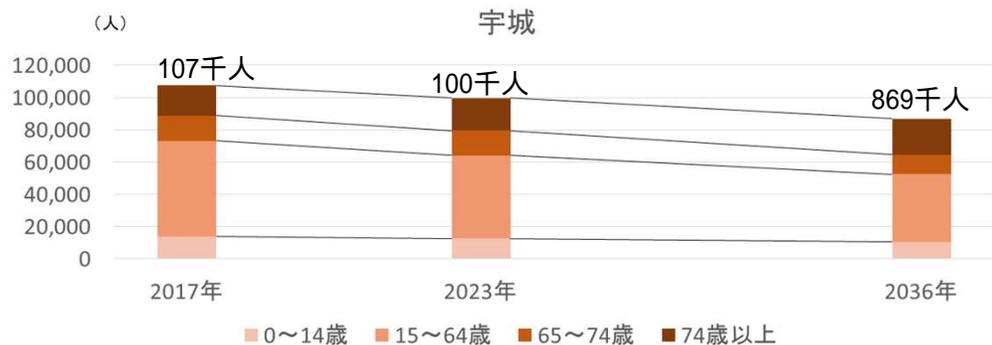
	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)			救急車受入件数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		
		非常勤医 の割合	常勤医 一人当たり	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり		
規模別	病院(200床以上)	12.0 ( 45.0)	3.5	22%	1,492	124 (+17.2)	1,787	149 (+40.4)	703	59 (+24.5)	
	病院(200床未満)	6.3 (+0.1)	1.7	21%	691	110 ( 36.5)	711	113 ( 17.9)	193	31 (+9.8)	
	有床診療所	1.6 (+0.2)	0.3	16%	273	168 (+56.9)	545	336 (+225.8)	4	2 ( 0.0)	
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二次救急病院	10.8 ( 15.6)	2.2	17%	1,388	129 (+7.9)	1,578	146 (+19.7)	544	50 (+15.1)	
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.8 (+0.4)	0.5	22%	105	59 ( 38.6)	970	545 (+360.4)	7	4 ( 0.2)	

# < 参考 > 各圏域の現状【宇城圏域】

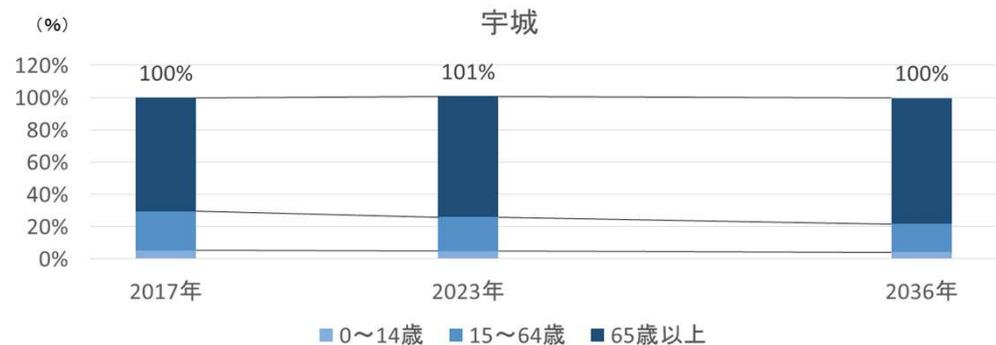
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口は減少傾向にあるものの、医療需要は横ばい
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：32%、2023年：36%、2036年：40%）

### 人口推移



### 医療需要推移

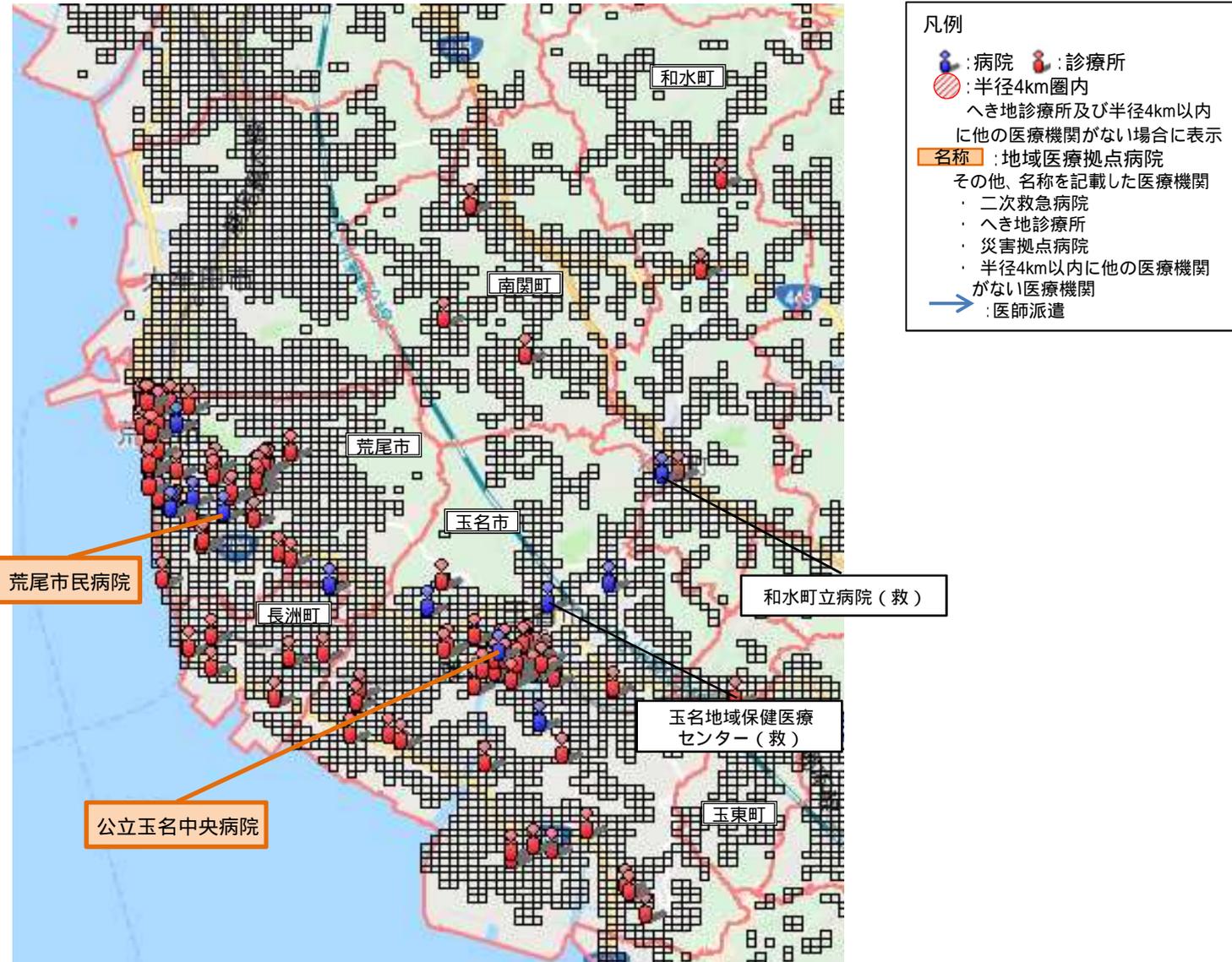


### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～14歳	13,768	13%	12,728	13%	10,451	12%
15～64歳	59,464	55%	51,400	52%	42,156	49%
65～74歳	15,659	15%	15,504	16%	11,916	14%
74歳以上	18,601	17%	20,168	20%	22,395	26%
計	107,492	100%	99,801	100%	86,917	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【有明圏域】



【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【有明圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口 : 155,860人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 421.43km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 12病院、104診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧(県医療政策課作成)より)  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 289人 (H28.12月現在。三師調査(医療施設従事医師数)より)

### 地域医療拠点病院

(1) 公立玉名中央病院【302床(一般)】

医師数: 常勤医70人

政策医療: 救急、災害、小児、心疾患、糖尿病

(2) 荒尾市民病院【274床(一般270床、感染症4床)】

医師数: 常勤医49人

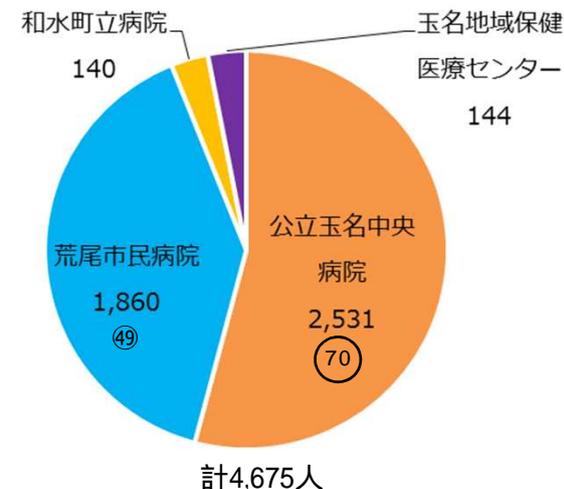
政策医療: 救急、周産期、がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、感染症

病床数: H31.4月現在。医療施設一覧(県医療政策課作成)より  
常勤医師数: H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所  
なし

## 救急搬送車による搬送受入患者数(人)

(常勤医師数: ⑨)



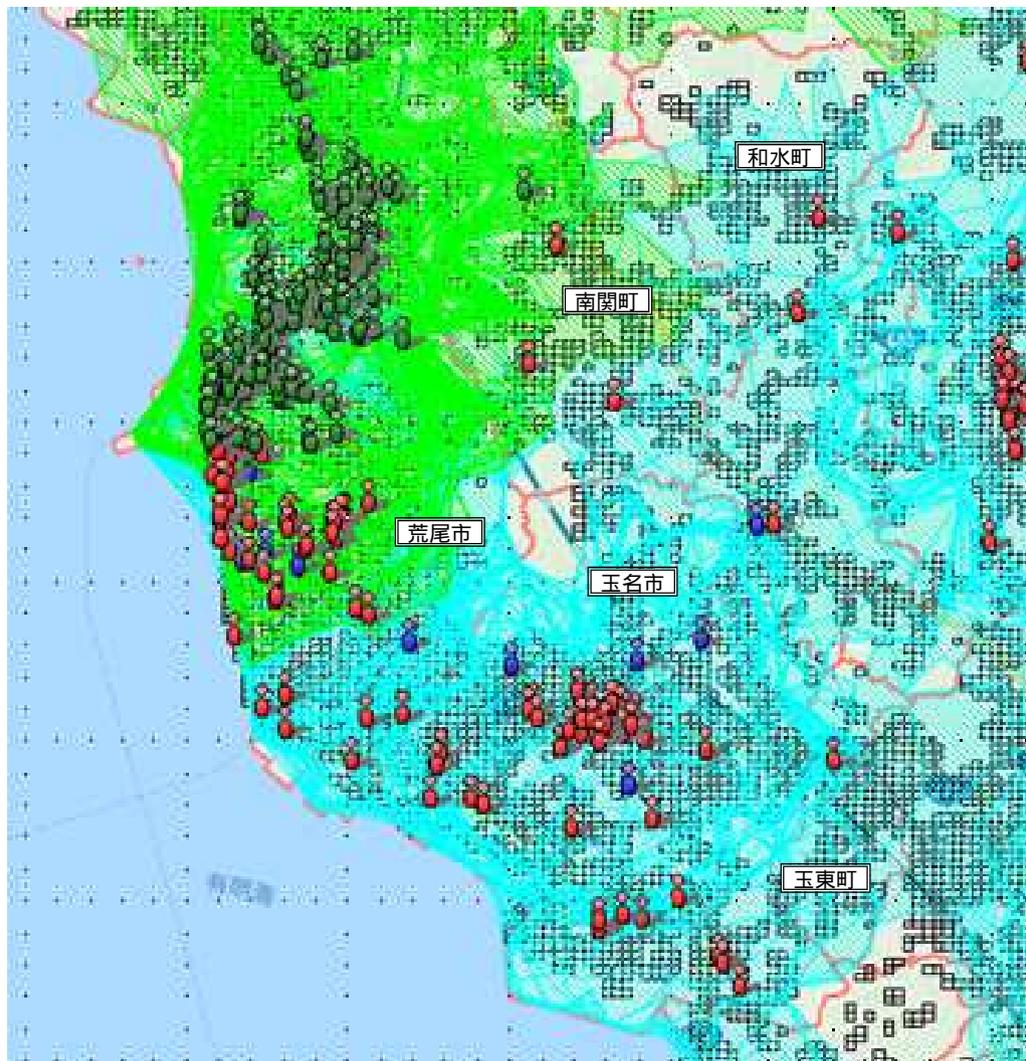
患者数: H29.4月~H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数: H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

## 【圏域の特徴】

- 圏域面積421.43km<sup>2</sup>、医療機関数12病院・104診療所、医師数289人
- へき地診療所なし。
- 荒尾市民病院、公立玉名中央病院で9割以上の二次救急患者を受け入れ。

## < 参考 > 各圏域の現状【有明圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



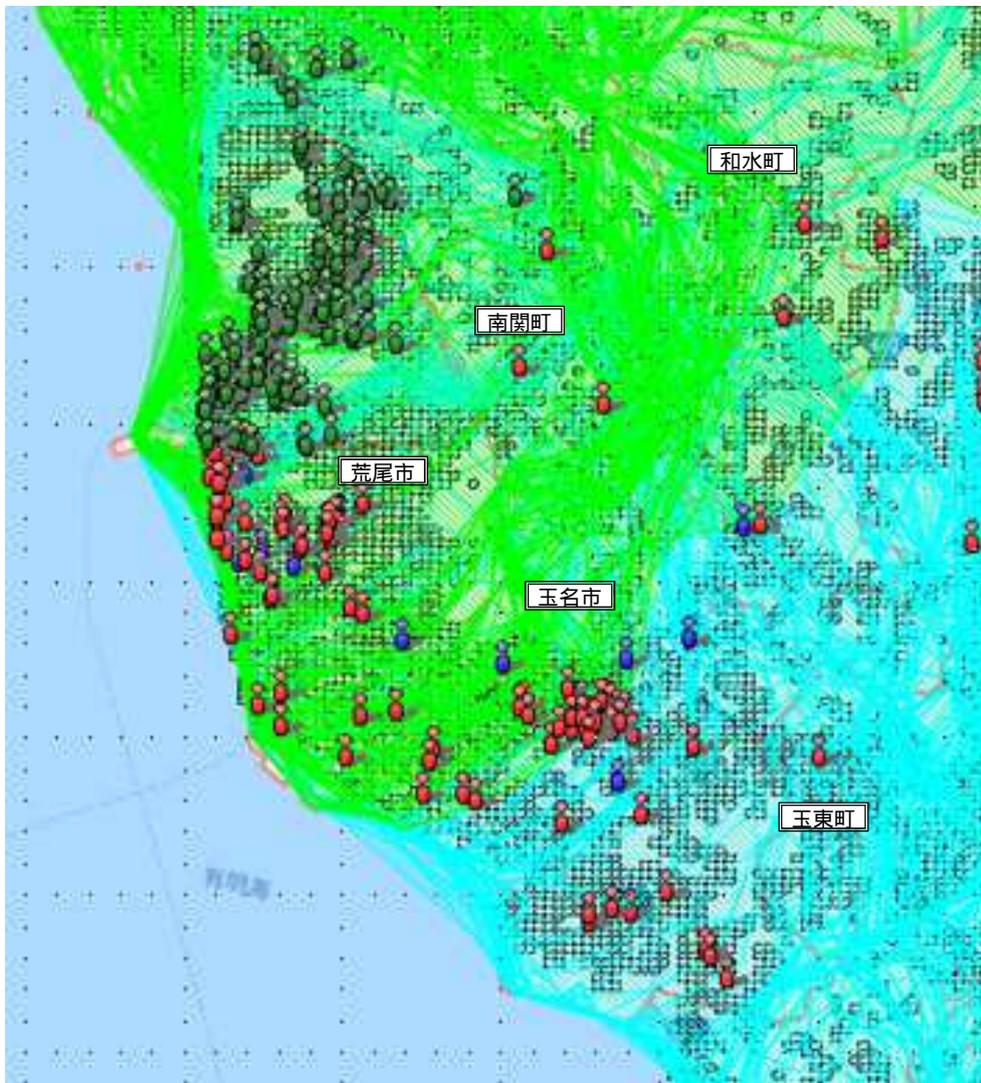
車15分では医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【有明圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分では全ての住民が医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## ＜参考＞各圏域の現状【有明圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医1人当たりの休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の休日・夜間患者数が少ない。

医療機関の状況【有明圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

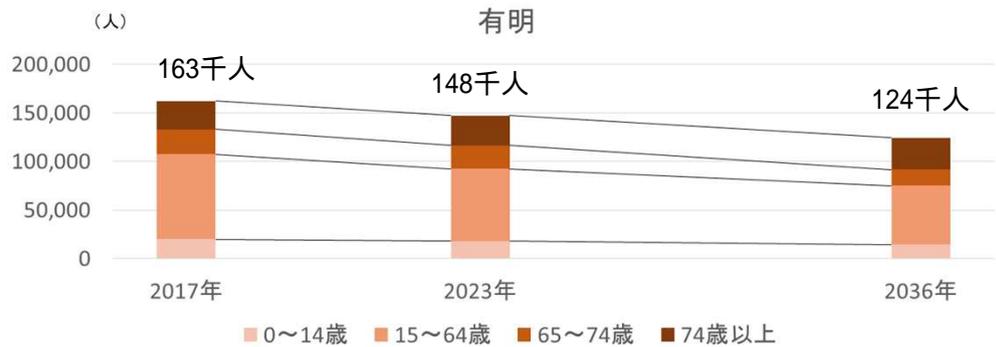
	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)			救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)		
		非常勤医 の割合	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり				
規模別	病院(200床以上)	44.3 ( 12.6)	4.2	9%	4,451	100 ( 6.8)	7,042	159 (+50.3)	1,729	39 (+4.9)	
	病院(200床未満)	6.0 ( 0.1)	1.6	21%	608	101 ( 45.2)	478	80 ( 51.3)	65	11 ( 10.2)	
	有床診療所	1.4 ( 0.0)	0.2	13%	178	130 (+19.6)	95	70 ( 40.2)	3	2 ( 0.2)	
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二次救急病院	32.8 (+6.4)	3.4	9%	3,760	115 ( 5.8)	5,802	177 (+50.7)	1,376	42 (+6.7)	
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.4 ( 0.0)	0.2	12%	159	113 (+15.7)	143	102 ( 83.0)	5	3 ( 0.9)	

# < 参考 > 各圏域の現状【有明圏域】

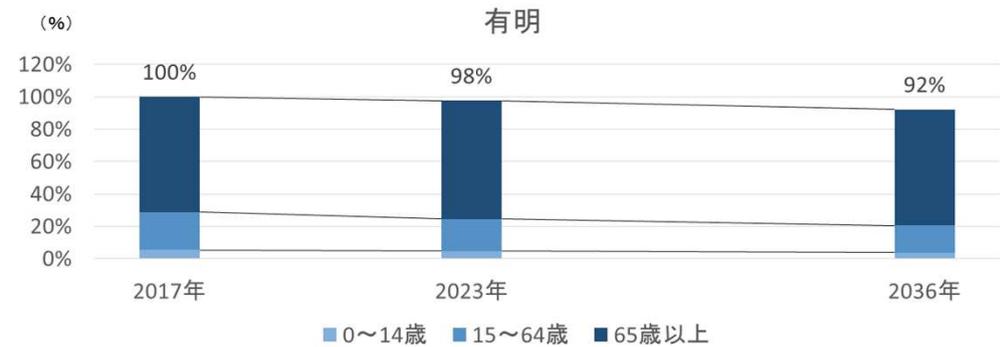
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：34%、2023年：37%、2036年：39%）

### 人口推移



### 医療需要推移

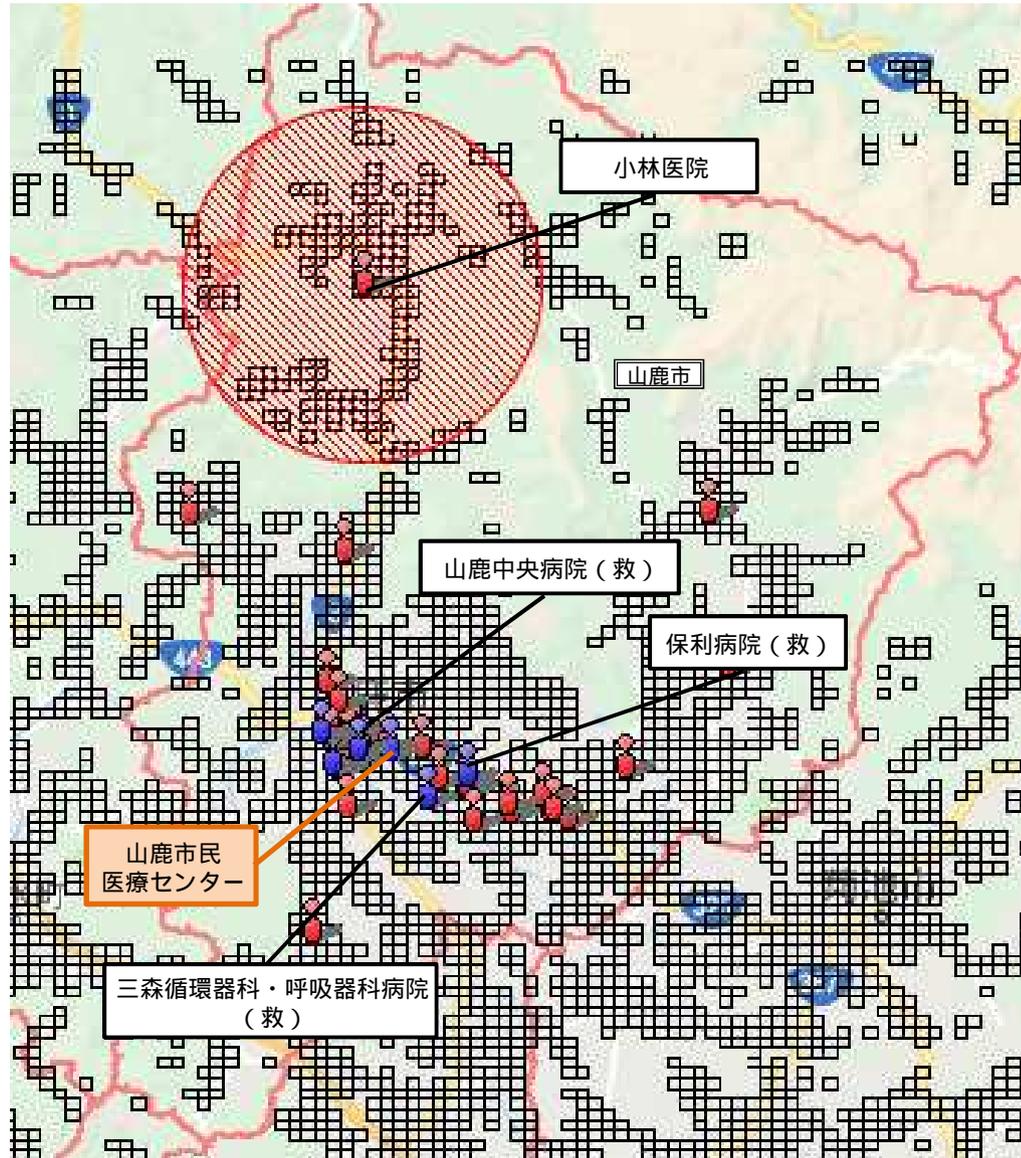


### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	20,000	12%	18,043	12%	14,485	12%
15～64歳	87,806	54%	74,543	51%	60,962	49%
65～74歳	25,444	16%	24,235	16%	16,335	13%
74歳以上	29,263	18%	30,767	21%	32,587	26%
計	162,513	100%	147,589	100%	124,369	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【鹿本圏域】



- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - ⊙ : 半径4km圏内
  - へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
  - 名称 : 地域医療拠点病院
  - その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
    - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
  - : 医師派遣

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により  
熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【鹿本圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口 : 50,049人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 299.69km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 6病院、34診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 97人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

(1) 山鹿市民医療センター【201床 (一般197床、感染症4床)】  
医師数 : 常勤医27人  
政策医療 : 救急、災害、がん、心疾患、糖尿病、感染症

病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所  
なし

## 【圏域の特徴】

- 圏域面積299.69km<sup>2</sup>、医療機関数6病院・34診療所、医師数97人。
- へき地診療所なし。
- 山鹿市民医療センター、保利病院、山鹿中央病院で9割以上の二次救急患者を受け入れ。

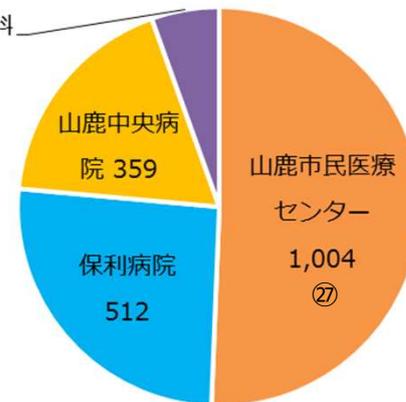
## 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ②)

三森循環器

科・呼吸器科

病院 108

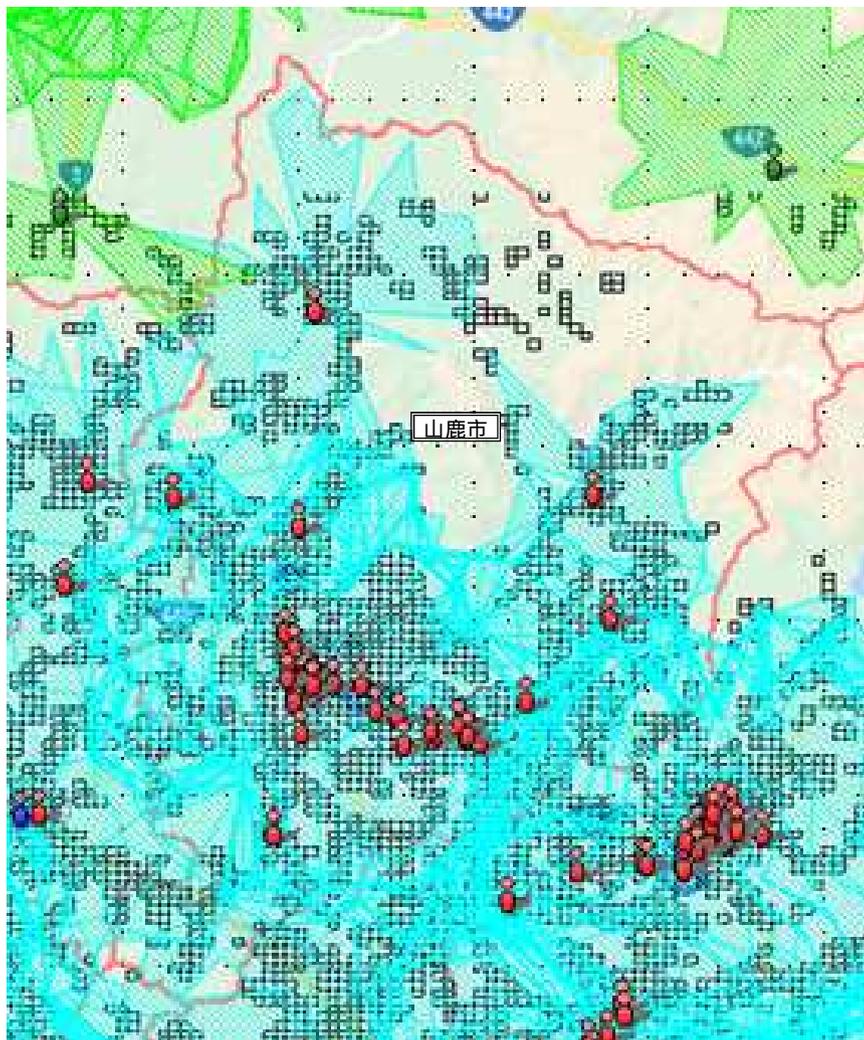


計1,983人

患者数 : H29.4月~H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数 : H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

## < 参考 > 各圏域の現状【鹿本圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



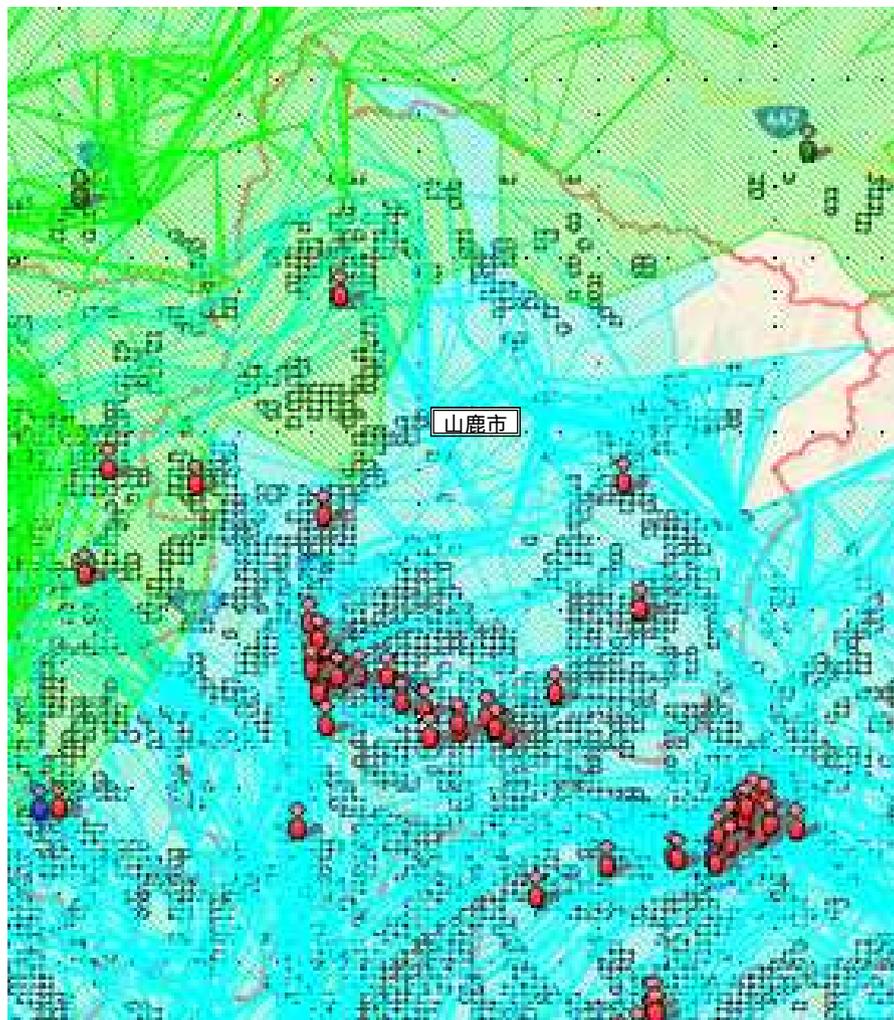
車15分では医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【鹿本圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分では全ての住民が医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病跡 : 診療所 : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

## ＜参考＞各圏域の現状【鹿本圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、有床診療所の休日・夜間患者数が多い。

医療機関の状況【鹿本圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

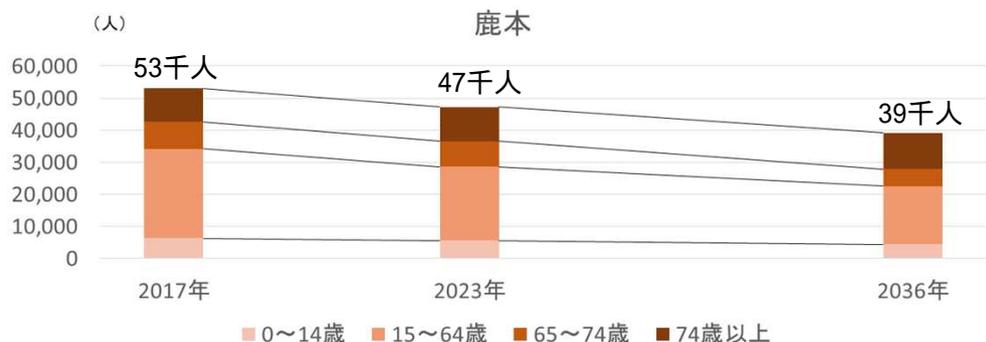
	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)			救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)		
		非常勤医 の割合	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり				
規模別	病院(200床以上)	27.0 ( 30.0)	2.7	9%	3,434	127 (+20.0)	3,012	112 (+3.0)	1,003	37 (+3.1)	
	病院(200床未満)	6.3 (+0.1)	2.9	32%	688	110 ( 36.4)	888	142 (+11.0)	205	33 (+11.8)	
	有床診療所	1.4 (+0.0)	0.2	13%	93	66 ( 45.0)	215	152 (+42.0)	7	5 (+2.6)	
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二次救急病院	11.8 ( 14.6)	3.6	23%	1,468	125 (+4.4)	1,633	139 (+12.5)	455	39 (+3.4)	
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.6 (+0.2)	0.4	18%	136	87 ( 11.1)	369	235 (+49.7)	12	8 (+3.7)	

# < 参考 > 各圏域の現状【鹿本圏域】

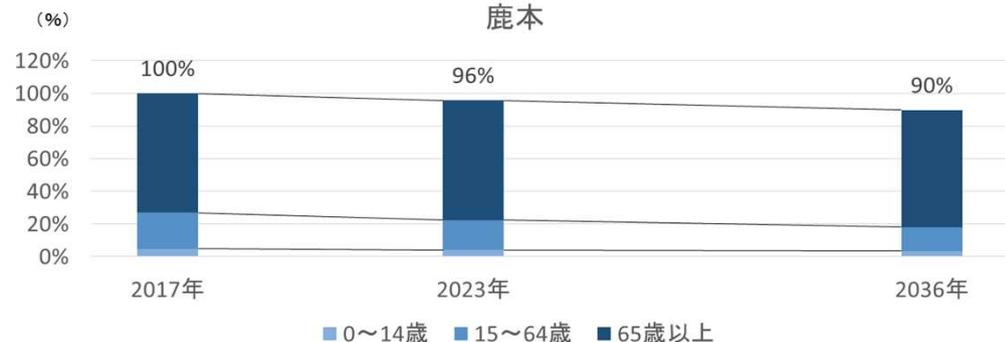
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：36%、2023年：40%、2036年：43%）

### 人口推移



### 医療需要推移



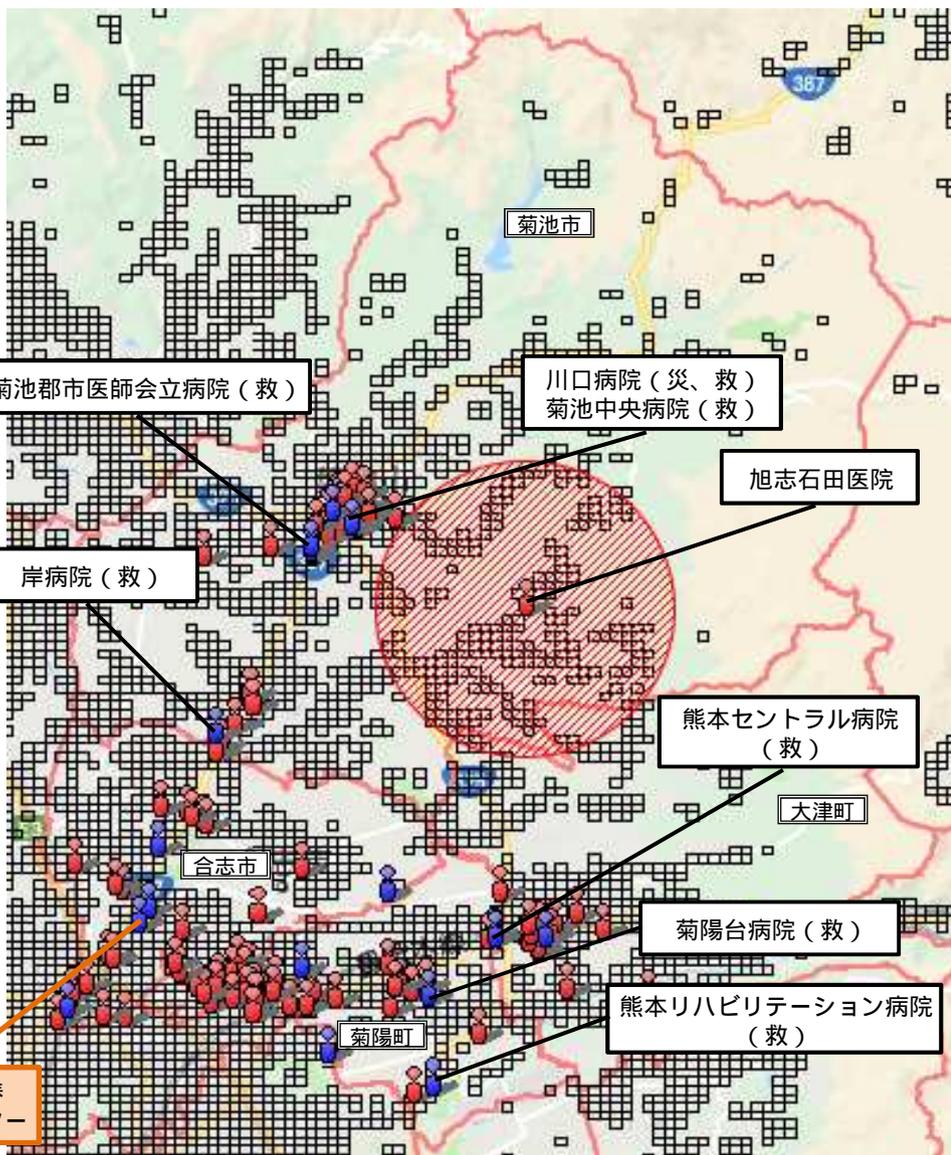
### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～14歳	6,277	12%	5,601	12%	4,453	11%
15～64歳	27,977	53%	23,009	49%	18,083	46%
65～74歳	8,327	16%	7,932	17%	5,382	14%
74歳以上	10,445	20%	10,703	23%	11,241	29%
計	53,026	100%	47,244	100%	39,159	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 半径4km圏内
  - へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
  - 名称 : 地域医療拠点病院
  - その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
    - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
  - : 医師派遣

熊本再春医療センター

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

### 【基本情報】

人口 : 184,878人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
 面積 : 466.6km<sup>2</sup>  
 医療機関数 : 16病院、111診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より) 企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
 医師数 : 322人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

#### 地域医療拠点病院

(1) 熊本再春医療センター【513床 (一般)】

医師数 : 常勤医44人

政策医療 : 救急、小児、がん、心疾患、糖尿病

病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
 常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

#### へき地診療所

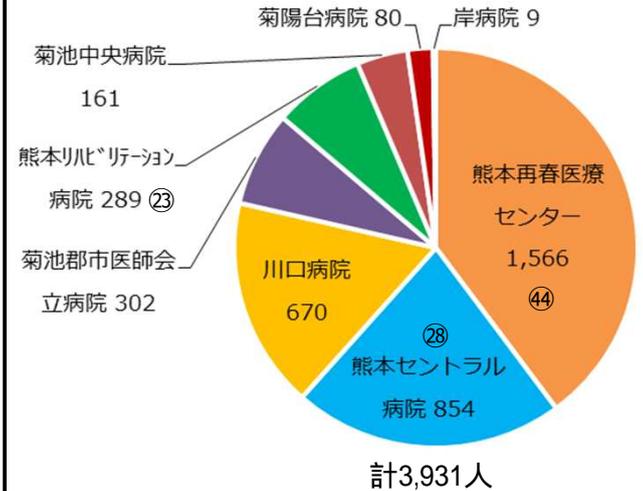
なし

### 【圏域の特徴】

- 圏域面積466.6km<sup>2</sup>、医療機関数16病院・111診療所、医師数322人。
- へき地診療所なし。
- 複数の病院で二次救急患者に対応。

### 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ①)

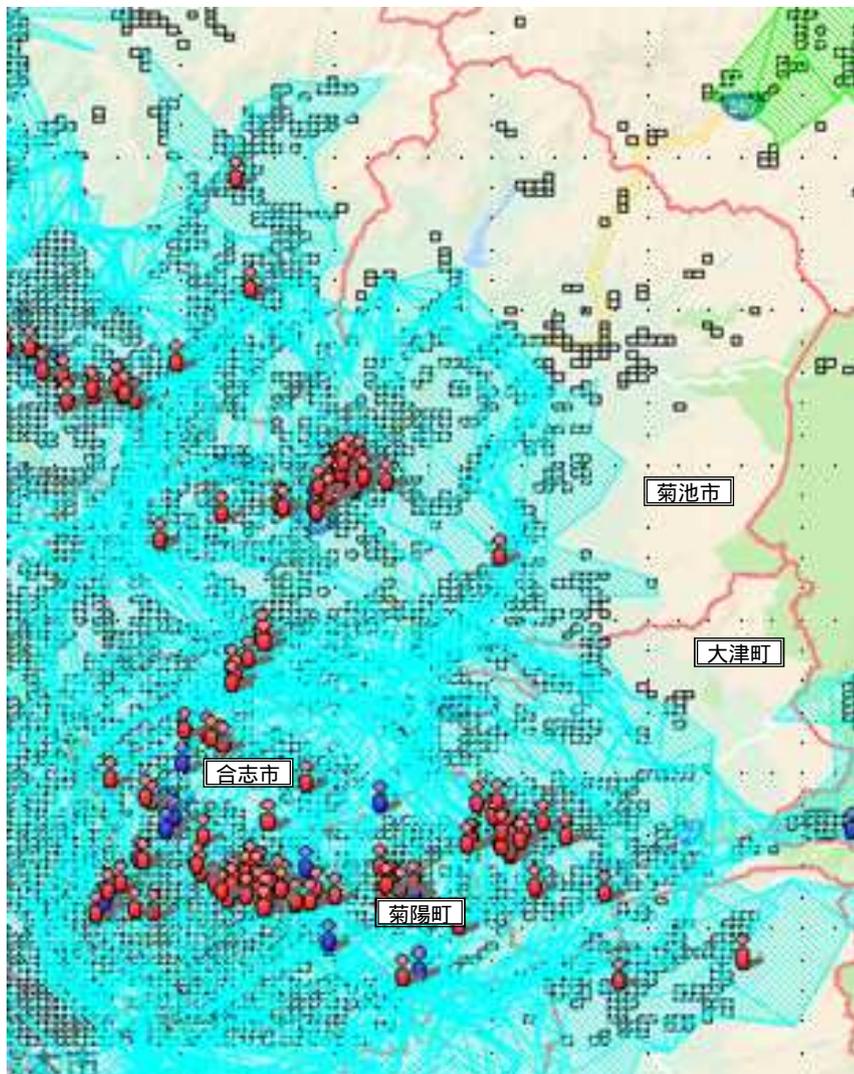


患者数 : H29.4月 ~ H30.3月  
 (厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
 常勤医師数 : H30.7月現在  
 (H30病床機能報告より)

## < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)

車15分では医療機関を受診できない地域あり。

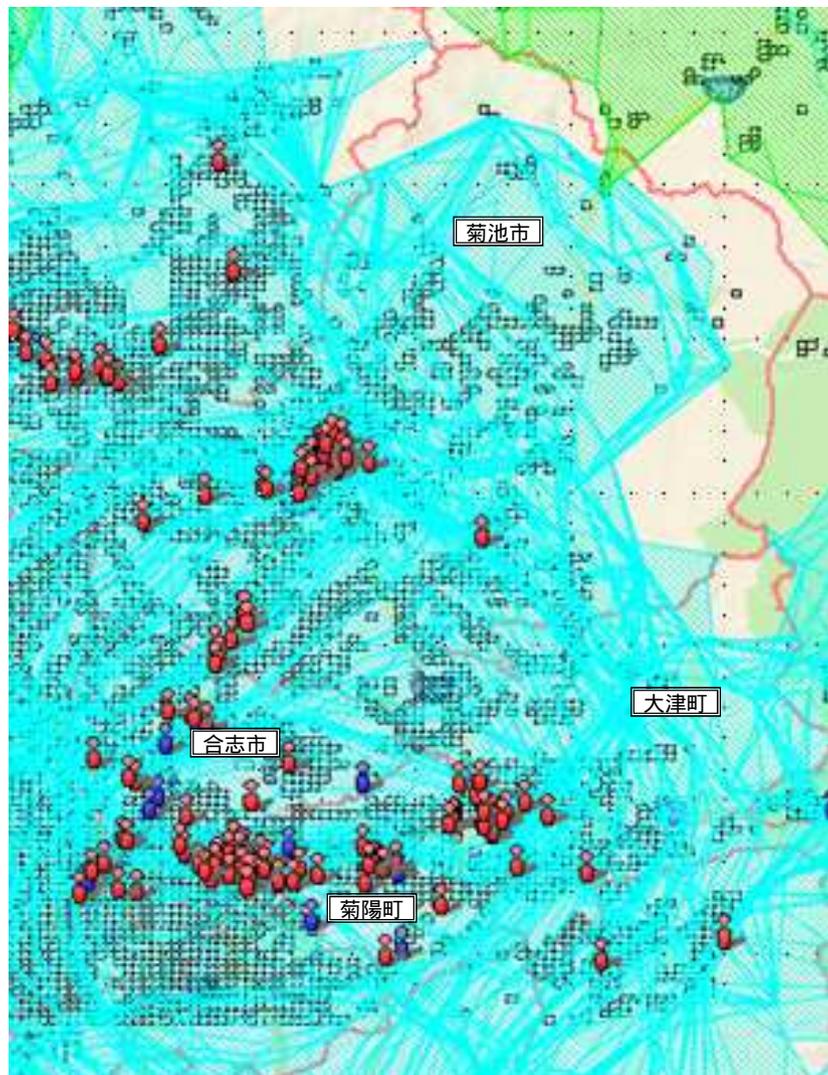


#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分ではほとんどの住民が医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院、200床未満の病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の休日・夜間患者数が少ない。

医療機関の状況【菊池圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

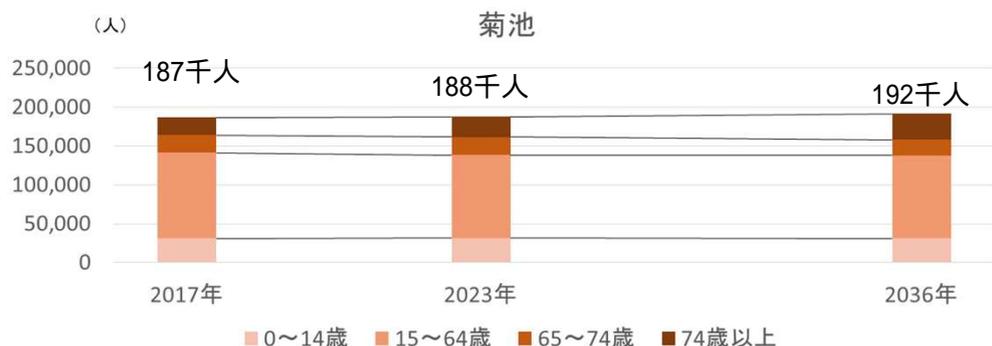
規模別	医療機能別	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)	
			非常勤医 の割合	常勤医 一人当たり	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり		
規模別	病院(200床以上)	31.7 ( 25.3)	3.6	10%	4,073	129 (+21.5)	2,846	90 ( 18.6)	1,302	41 (+7.0)
	病院(200床未満)	5.2 ( 0.9)	1.7	24%	1,171	224 (+77.7)	989	189 (+58.4)	116	22 (+1.3)
	有床診療所	1.4 ( 0.0)	0.2	11%	261	188 (+77.0)	24	17 ( 92.7)	1	0 ( 2.0)
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二次救急病院	15.5 ( 10.9)	2.7	15%	2,689	174 (+52.9)	2,146	138 (+12.0)	617	40 (+4.5)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.3 ( 0.1)	0.2	14%	67	50 ( 47.4)	72	54 ( 131.4)	2	1 ( 2.7)

# < 参考 > 各圏域の現状【菊池圏域】

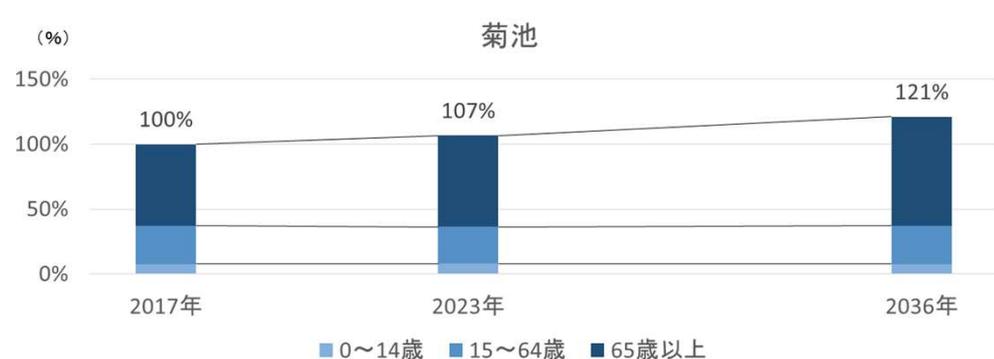
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに増加傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：24%、2023年：26%、2036年：28%）

### 人口推移



### 医療需要推移

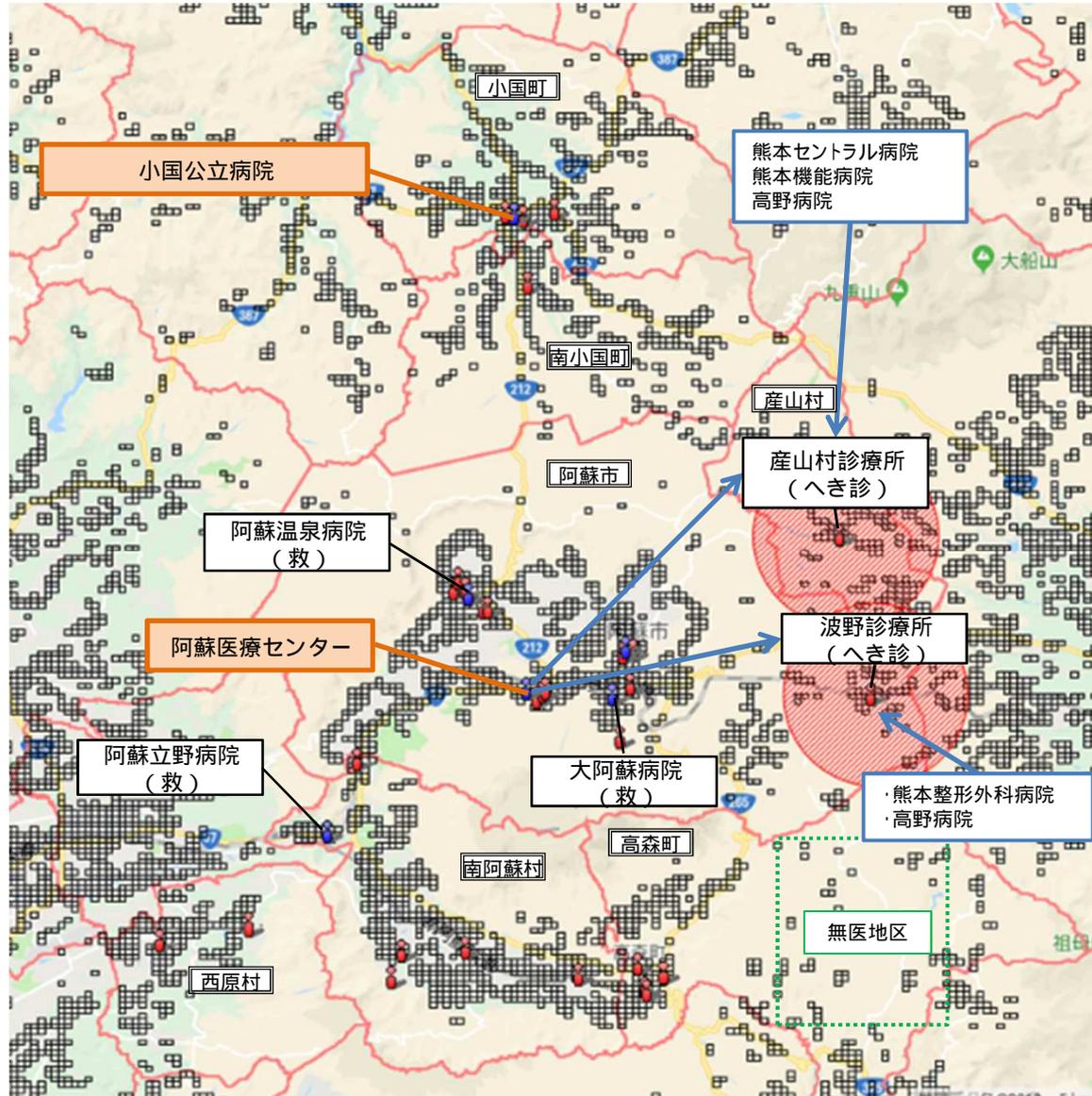


### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	31,158	17%	31,680	17%	31,329	16%
15～64歳	110,189	59%	106,562	57%	106,434	56%
65～74歳	22,726	12%	23,284	12%	20,359	11%
74歳以上	22,601	12%	26,390	14%	33,525	17%
計	186,674	100%	187,915	100%	191,647	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【阿蘇圏域】



凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 半径4km圏内
- へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
- 名称 : 地域医療拠点病院
- その他、名称を記載した医療機関
  - ・ 二次救急病院
  - ・ へき地診療所
  - ・ 災害拠点病院
  - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
- : 医師派遣

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【阿蘇圏域】

### 【基本情報】

人口 : 60,286人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
 面積 : 1079.55km<sup>2</sup>  
 医療機関数 : 6病院、29診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
 企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
 医師数 : 86人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

- (1) 阿蘇医療センター【124床 (一般120床、感染症4床)】  
 医師数 : 常勤医9人  
 政策医療 : 救急、災害、へき地、脳卒中、心疾患、糖尿病、感染症
- (2) 小国公立病院【75床 (一般75床)】  
 医師数 : 常勤医8人  
 政策医療 : 救急

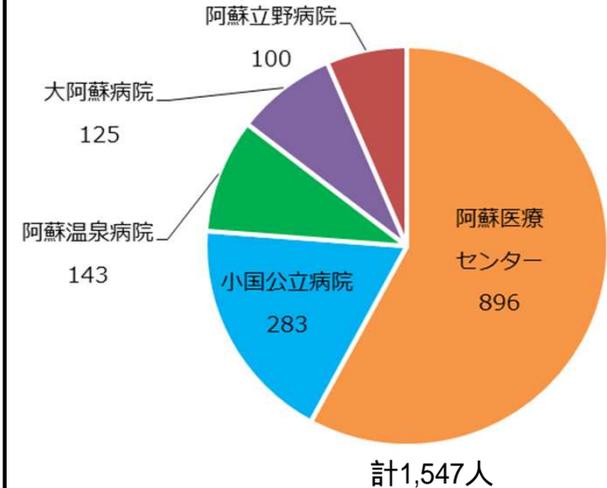
病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
 常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所 (曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より)

- (1) 産山村診療所 (月～金、患者数:25.0人)  
 診療体制 : 常勤医 (月、火)、非常勤 (水～金)
- (2) 波野診療所 (月、火、木AM、金、患者数:21.1人)  
 診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

### 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ①)



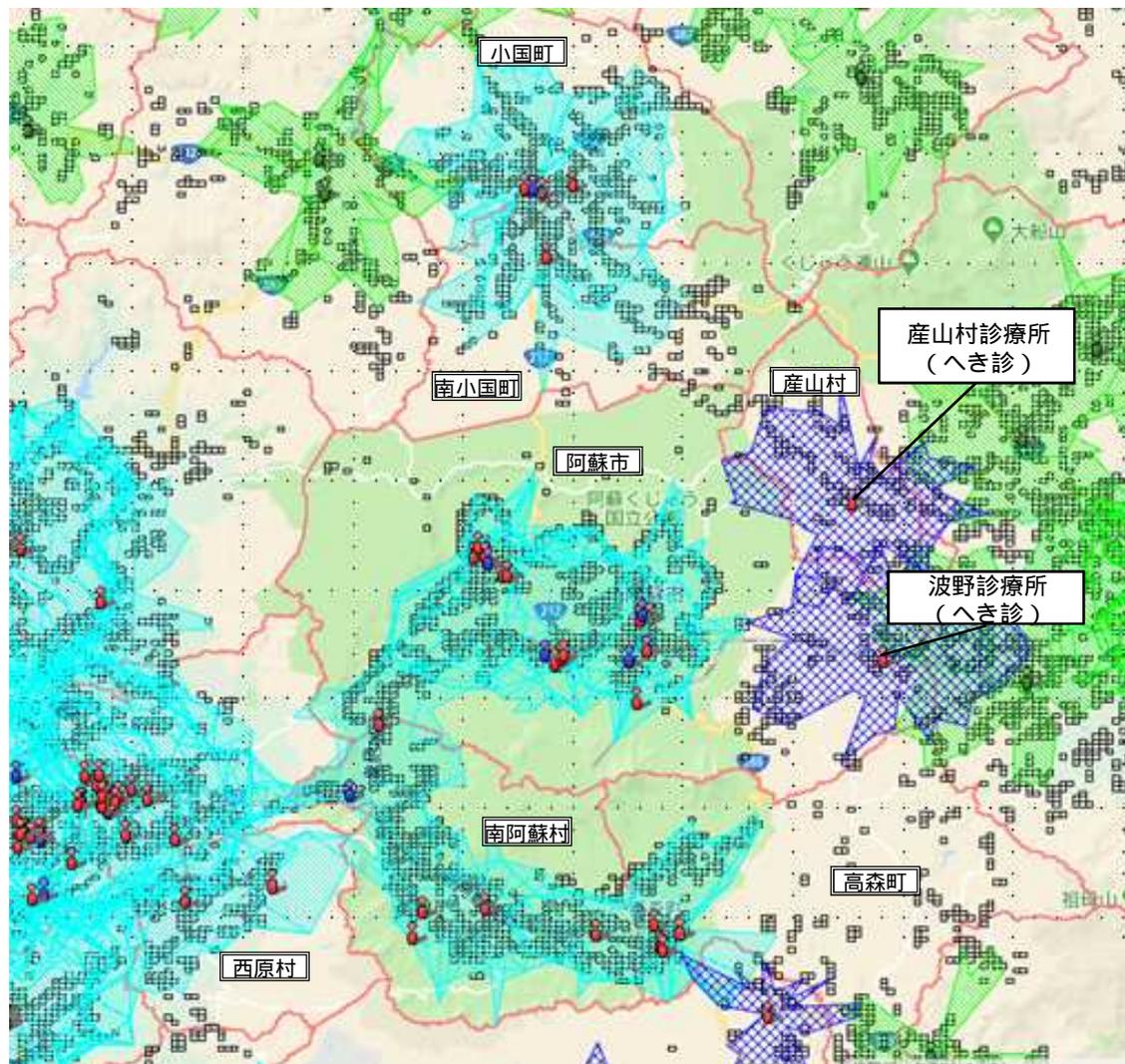
患者数 : H29.4月～H30.3月  
 (厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
 常勤医師数 : H30.7月現在  
 (H30病床機能報告より)

### 【圏域の特徴】

- 圏域面積1079.55km<sup>2</sup>、医療機関数6病院・29診療所、医師数86人。
- へき地診療所 (2診療所) は他の医療機関からの医師派遣を受けている。
- 二次救急の7割超を阿蘇医療センター、小国公立病院で受け入れている。

## < 参考 > 各圏域の現状【阿蘇圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



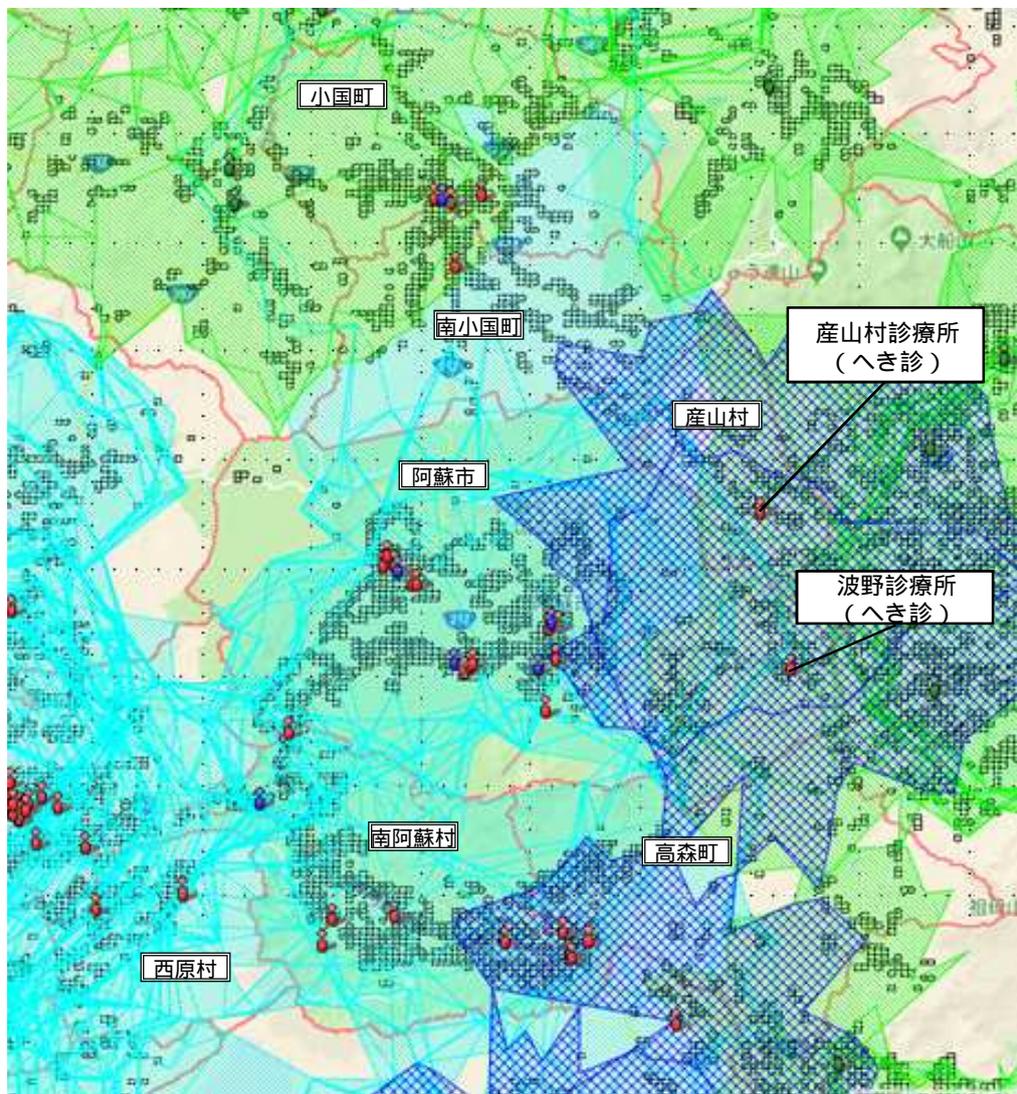
車15分では医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## <参考> 各圏域の現状【阿蘇圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分でも医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

## ＜参考＞各圏域の現状【阿蘇圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の新規入院患者数が多く、休日・夜間患者数が少ない。

医療機関の状況【阿蘇圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

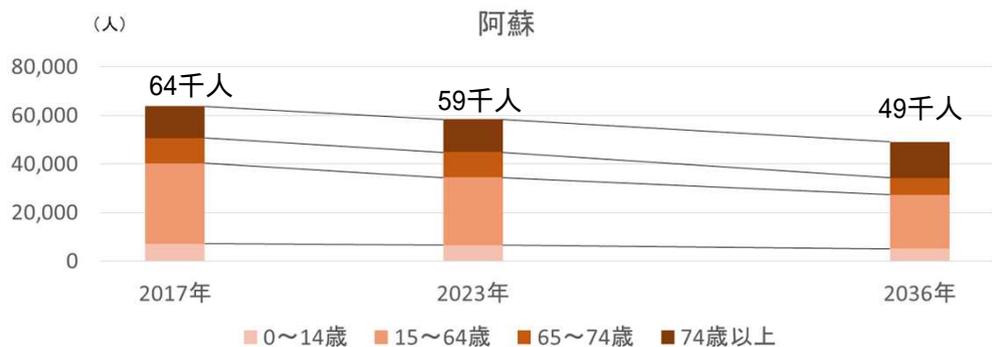
	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)		
		非常勤医 の割合	非常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり				
規模別	病院(200床以上)	12.0 ( 45.0)	0.0	0%	1,238	103 ( 4.0)	852	71 ( 37.5)	144	12 ( 22.1)
	病院(200床未満)	6.3 (+0.1)	1.1	15%	817	131 ( 15.7)	1,876	300 (+169.2)	367	59 (+37.7)
	有床診療所	1.3 ( 0.1)	0.3	20%	194	151 (+39.9)	111	87 ( 23.2)	4	3 (+1.0)
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二次救急病院	7.4 ( 19.0)	0.9	11%	901	122 (+1.2)	1,671	226 (+99.4)	322	44 (+8.3)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.2 ( 0.2)	0.5	28%	230	192 (+94.1)	156	130 ( 55.1)	6	5 (+1.1)

# < 参考 > 各圏域の現状【阿蘇圏域】

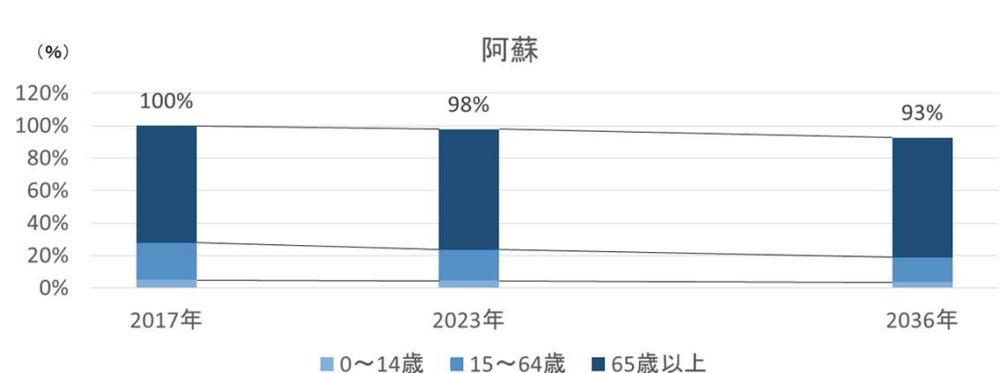
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：36%、2023年：41%、2036年：44%）

### 人口推移



### 医療需要推移



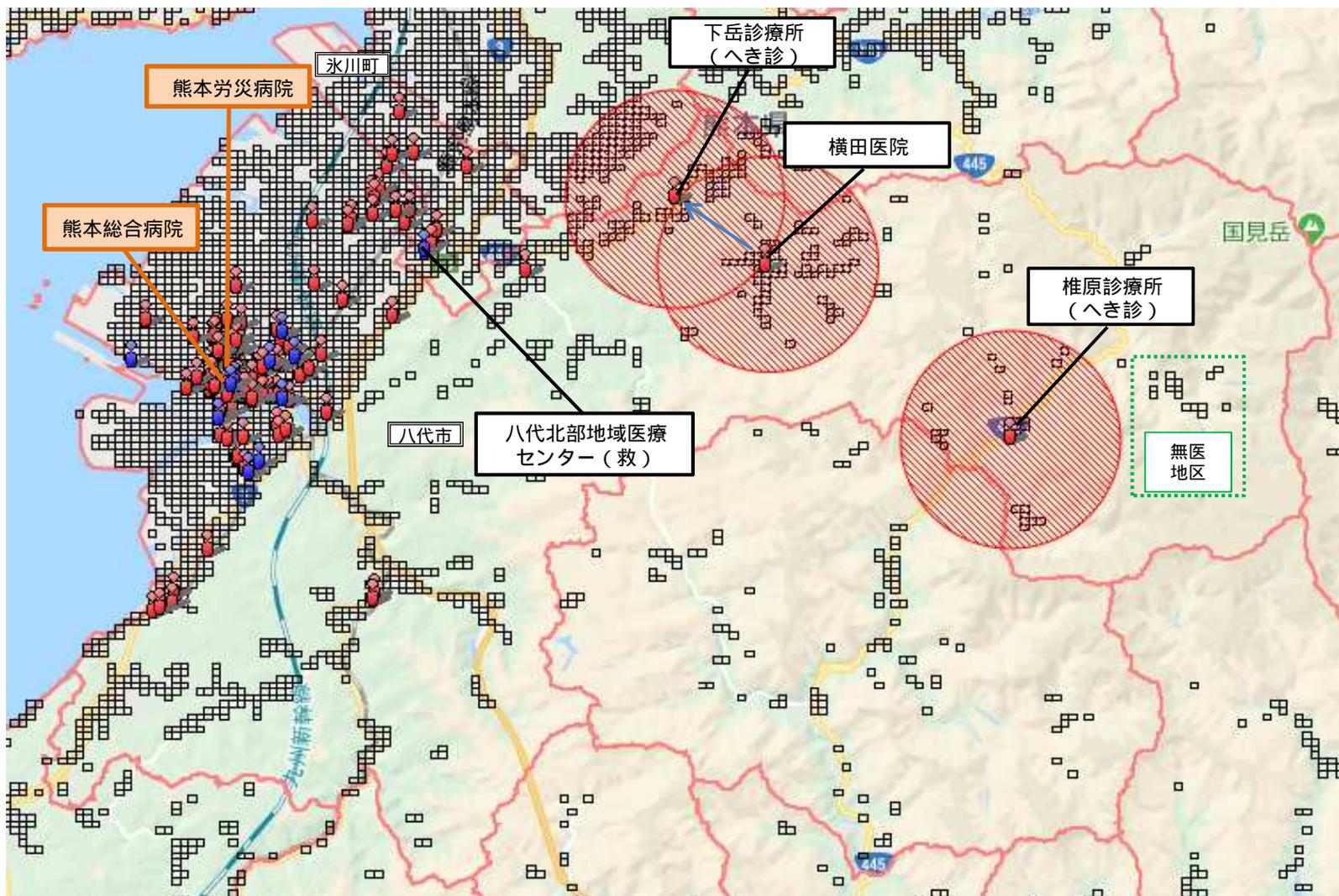
### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～14歳	7,268	11%	6,587	11%	5,205	11%
15～64歳	33,140	52%	27,986	48%	22,239	45%
65～74歳	10,432	16%	10,388	18%	6,997	14%
74歳以上	13,009	20%	13,539	23%	14,708	30%
計	63,849	100%	58,500	100%	49,148	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



- 凡例
- : 病院
  - : 診療所
  - : 半径4km圏内
  - へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
  - 名称 : 地域医療拠点病院
  - その他、名称を記載した医療機関
    - ・ 二次救急病院
    - ・ へき地診療所
    - ・ 災害拠点病院
    - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
  - : 医師派遣

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口：135,446人（H31.4月現在。熊本県推計人口調査より）  
面積：714.72km<sup>2</sup>  
医療機関数：11病院、109診療所（H31.4月現在。医療施設一覧（県医療政策課作成）より）  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数：318人（H28.12月現在。三師調査（医療施設従事医師数）より）

### 地域医療拠点病院

- (1) 熊本労災病院【410床（一般）】  
医師数：常勤医87人  
政策医療：救急、災害、周産期、小児、がん、脳卒中、心疾患、糖尿病
- (2) 熊本総合病院【400床（一般396床、感染症4床）】  
医師数：常勤医62人  
政策医療：救急、がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、感染症

病床数：H31.4月現在。医療施設一覧（県医療政策課作成）より  
常勤医師数：H30.7月現在。H30病床機能報告より

### へき地診療所（曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より）

- (1) 下岳診療所（火、金 患者数:24.0人）  
診療体制：非常勤医（全診療日）
- (2) 椎原診療所（月～木 患者数:11.0人）  
診療体制：常勤医（全診療日）

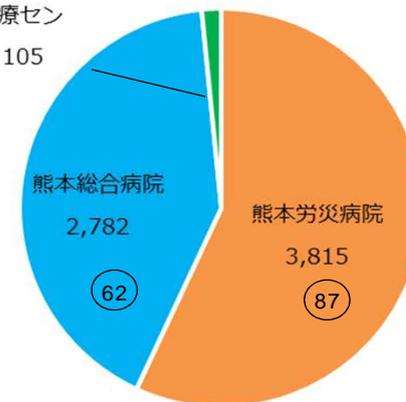
## 【圏域の特徴】

- 圏域面積714.72km<sup>2</sup>、医療機関数11病院・109診療所、医師数318人。
- 椎原診療所は常勤医が勤務、下岳診療所は横田医院から医師派遣を受けている。
- 熊本労災病院、熊本総合病院で9割以上の二次救急患者を受け入れている。

## 救急搬送車による搬送受入患者数（人）

（常勤医師数：(人)）

八代北部  
地域医療セン  
ター 105

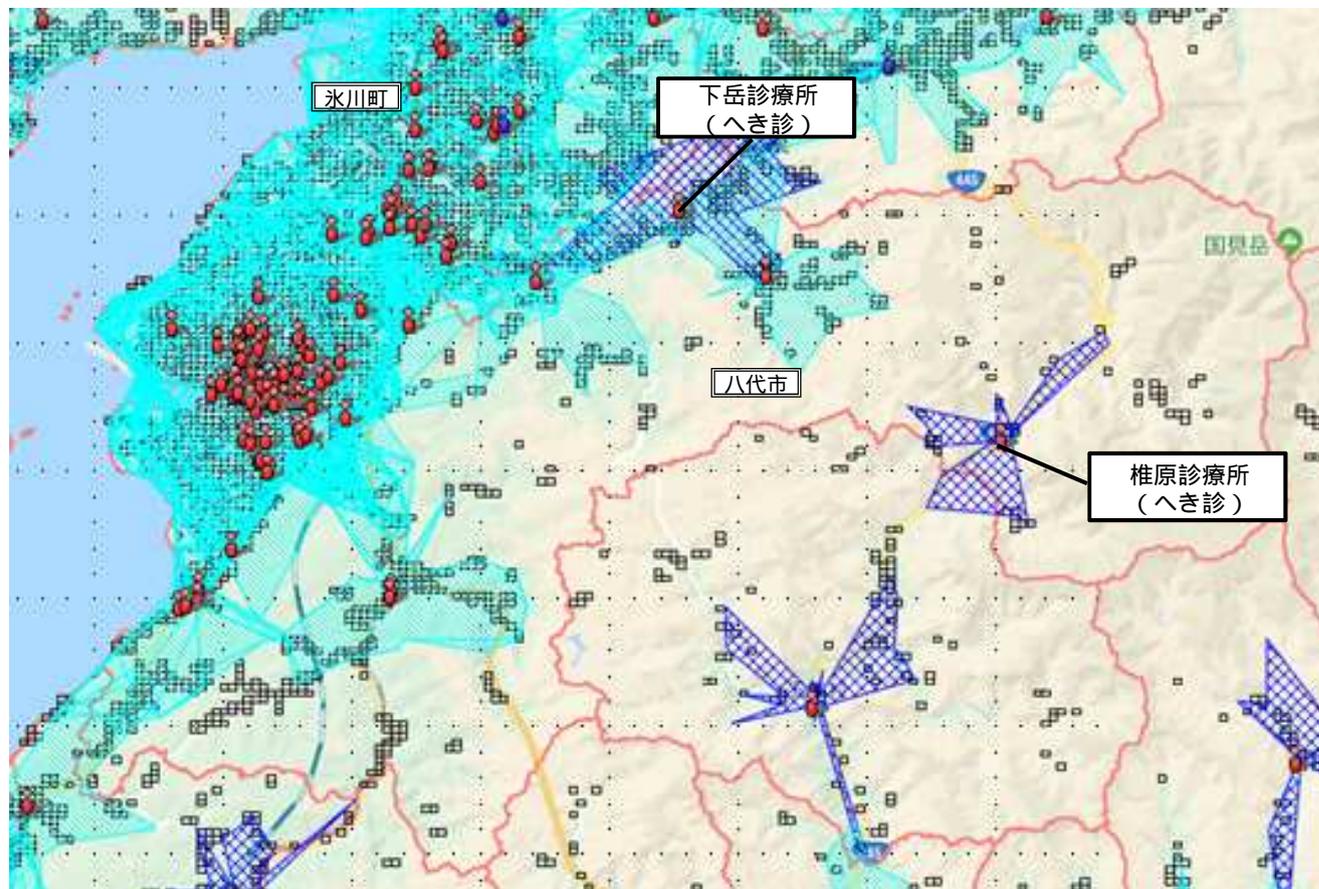


計6,702人

患者数：H29.4月～H30.3月  
（厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより）  
常勤医師数：H30.7月現在  
（H30病床機能報告より）

## < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



車15分では医療機関を受診できない地域あり。

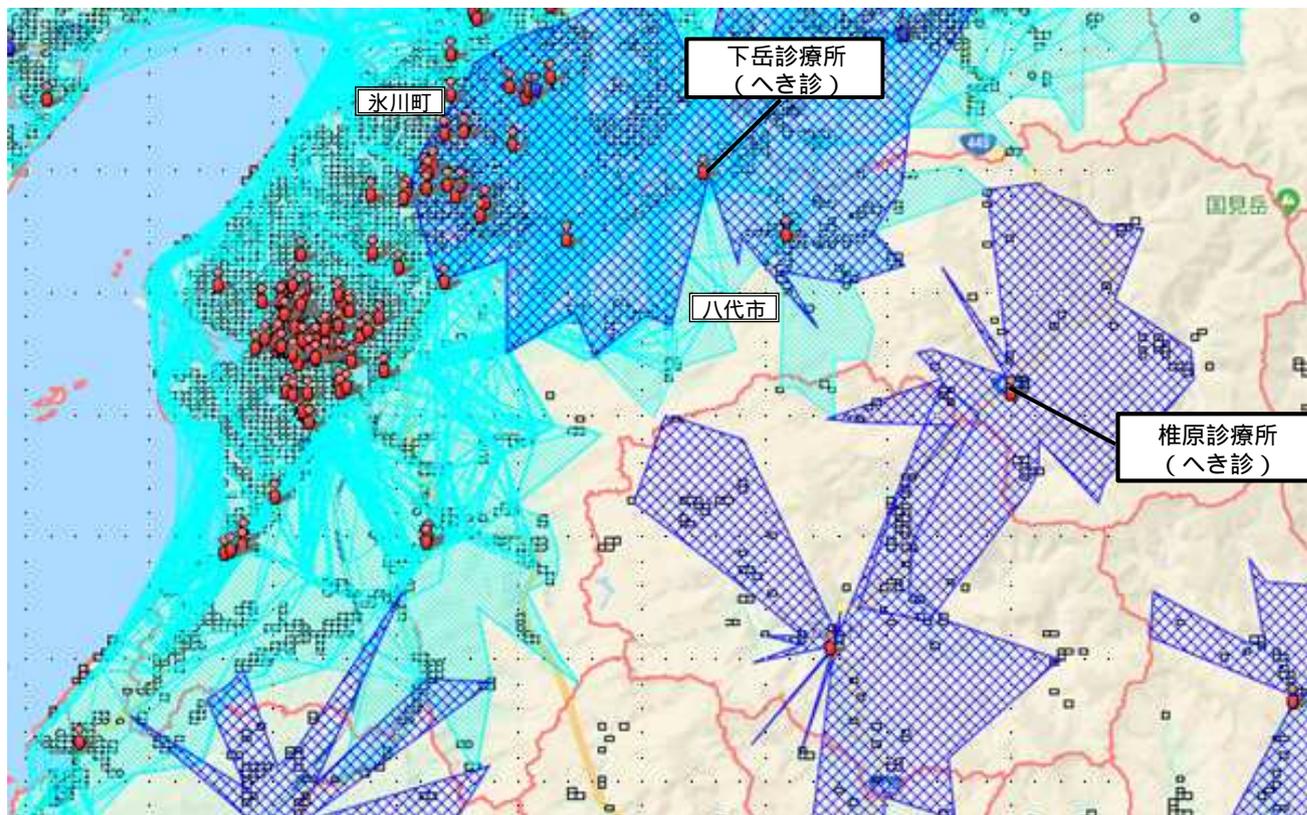
#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分ではほとんどの住民が  
医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、200床未満の病院の常勤医1人当たりの休日・夜間患者数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の新規入院患者数、休日・夜間患者数が多い。

医療機関の状況【八代圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

	常勤医師数	非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)			救急車受入件数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		
		非常勤医 の割合	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり	常勤医 一人当たり					
規模別	病院(200床以上)	51.3 ( 5.6)	1.5	3%	6,463	126 (+18.7)	5,745	112 (+3.4)	2,325	45 (+11.2)	
	病院(200床未満)	3.7 ( 2.4)	2.2	37%	297	80 ( 66.6)	827	223 (+91.5)	27	7 ( 13.7)	
	有床診療所	1.2 ( 0.2)	0.2	12%	156	129 (+18.4)	230	191 (+80.9)	3	2 ( 0.1)	
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二次救急病院	39.5 (+13.1)	1.1	3%	4,967	126 (+5.1)	4,979	126 ( 0.4)	1,790	45 (+10.0)	
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.1 ( 0.3)	0.2	17%	158	142 (+44.2)	371	334 (+148.8)	5	4 (+0.0)	

# < 参考 > 各圏域の現状【八代圏域】

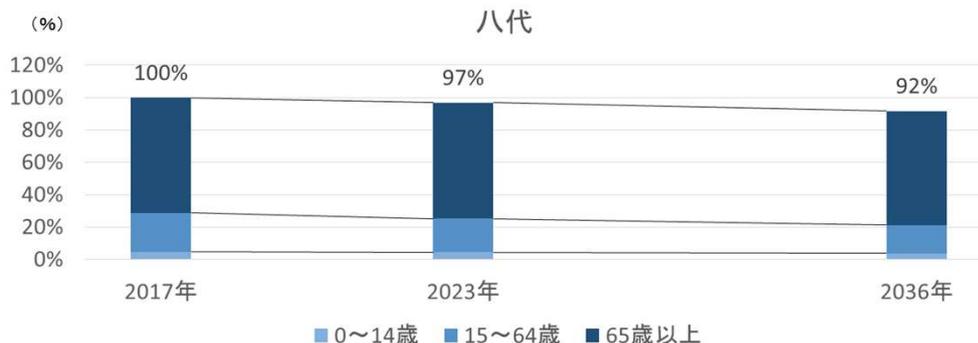
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：33%、2023年：36%、2036年：38%）

### 人口推移



### 医療需要推移



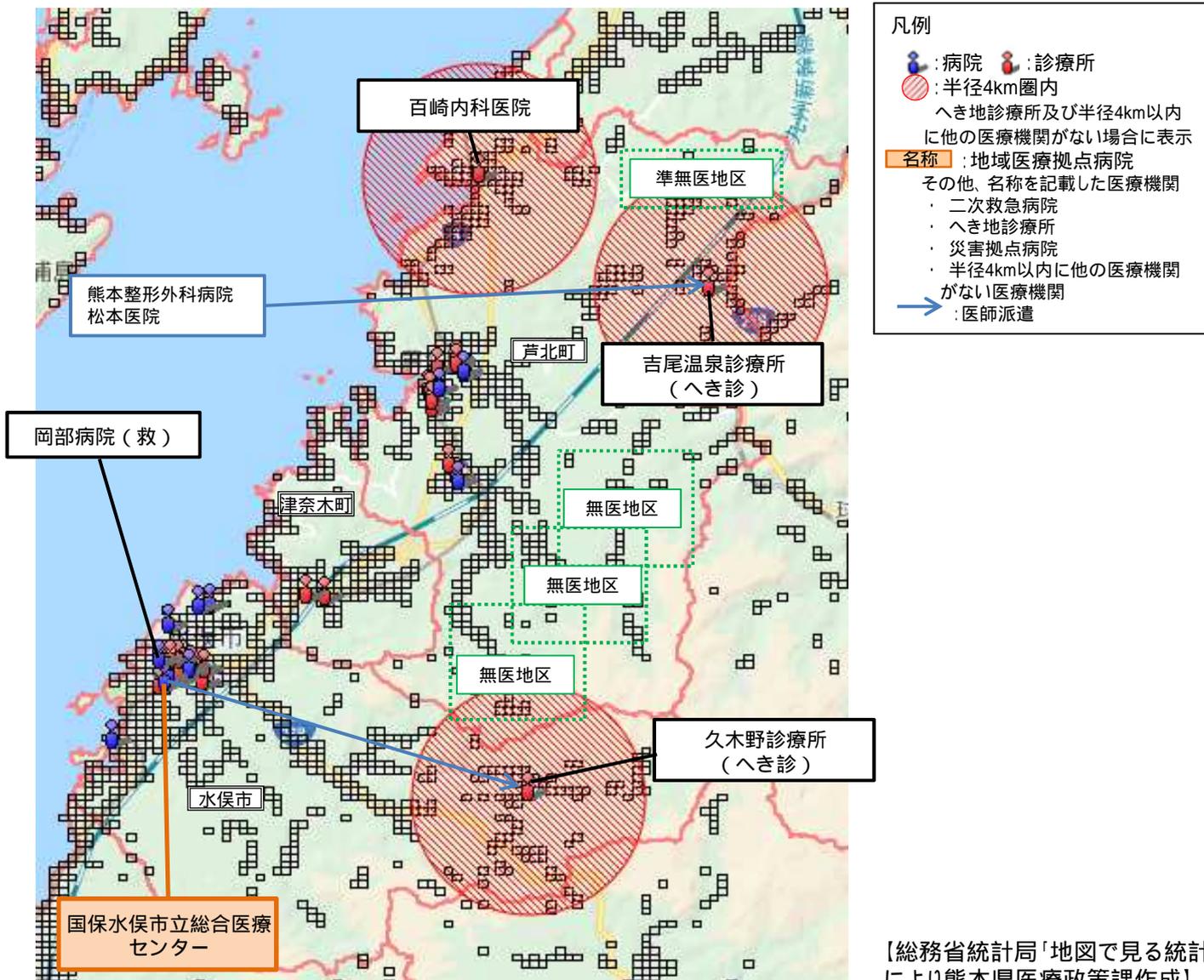
### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	17,205	12%	15,981	12%	13,618	12%
15～64歳	77,542	55%	66,838	52%	55,587	50%
65～74歳	21,313	15%	20,191	16%	15,105	14%
74歳以上	25,083	18%	25,897	20%	26,791	24%
計	141,143	100%	128,907	100%	111,101	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【芦北圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## 【基本情報】

人口 : 44,714人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 431.36km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 11病院、31診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 136人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

(1) 国保水俣市立総合医療センター

【361床 (一般357床、感染症4床)】

医師数: 常勤医49人

政策医療: 救急、災害、周産期、小児、がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、感染症

病床数: H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
常勤医師数: H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所 (曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より)

(1) 吉尾温泉診療所 (火、水PM 患者数:8.9人)

診療体制: 非常勤医 (全診療日)

(2) 久木野診療所 (火AM、金AM 患者数:9.0人)

診療体制: 非常勤医 (全診療日)

## 【圏域の特徴】

- ・ 圏域面積431.36km<sup>2</sup>、医療機関数11病院・31診療所、医師数136人。
- ・ へき地診療所 (2診療所) は他の医療機関からの医師派遣を受けている。
- ・ 国保水俣市立総合医療センターで二次救急患者の約9割を受け入れている。

### 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ④)

岡部病院 108

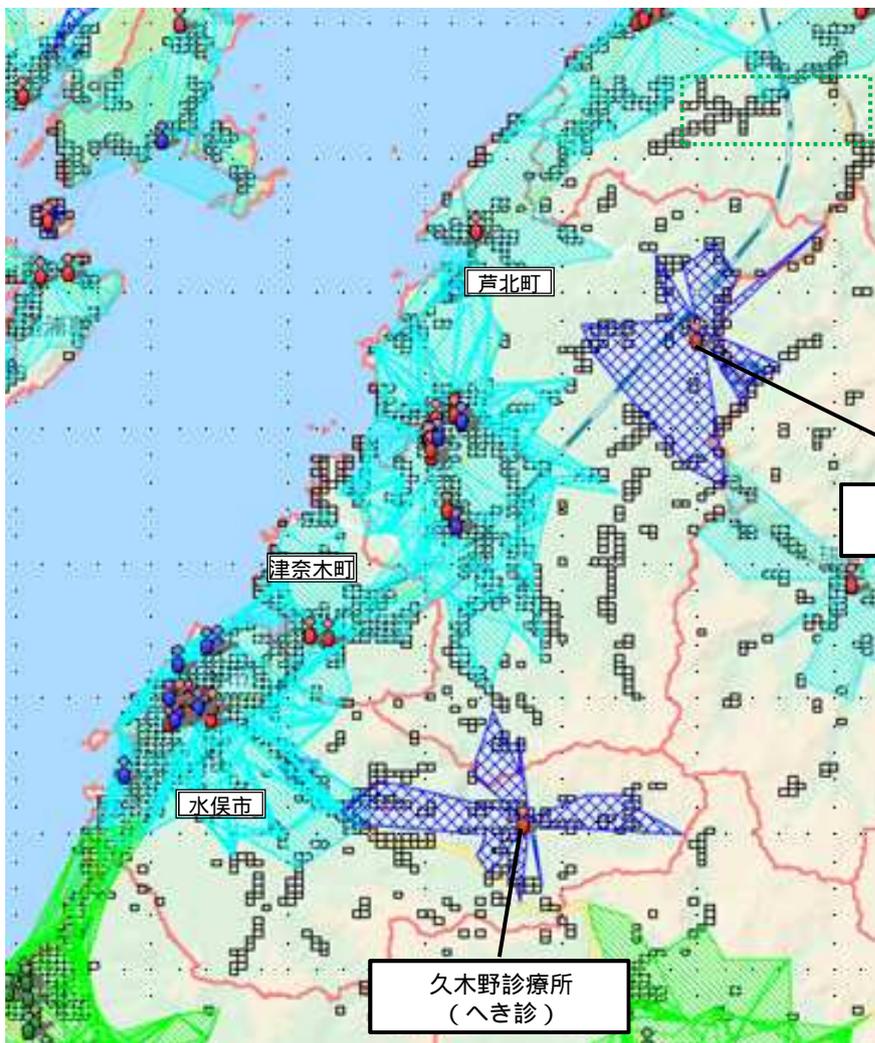


計1,501人

患者数: H29.4月~H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数: H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

## < 参考 > 各圏域の現状【芦北圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



車15分では医療機関を受診できない地域あり。

吉尾温泉診療所  
(へき診)

久木野診療所  
(へき診)

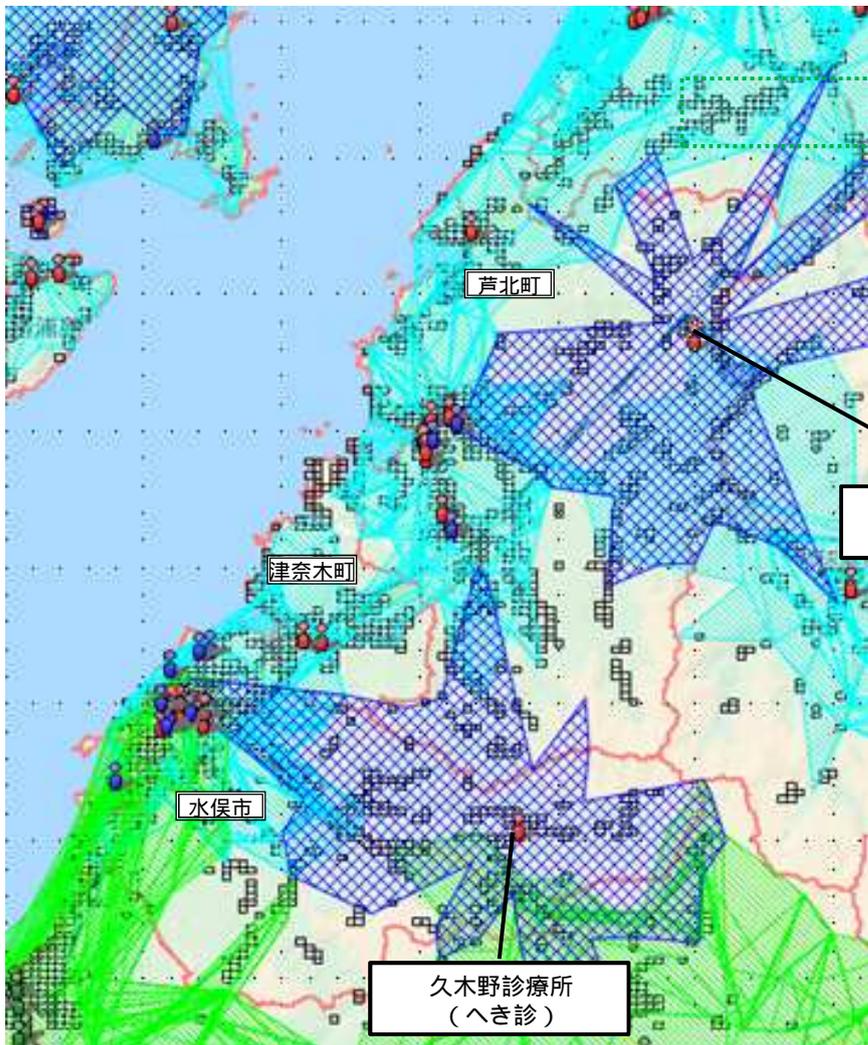
#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【芦北圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分でも医療機関を受診できない地域あり。

吉尾温泉診療所  
(へき診)

久木野診療所  
(へき診)

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【芦北圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、200床以上の病院及び二次救急病院における常勤医1人当たりの休日・夜間患者数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の休日・夜間患者数が少ない。

医療機関の状況【芦北圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

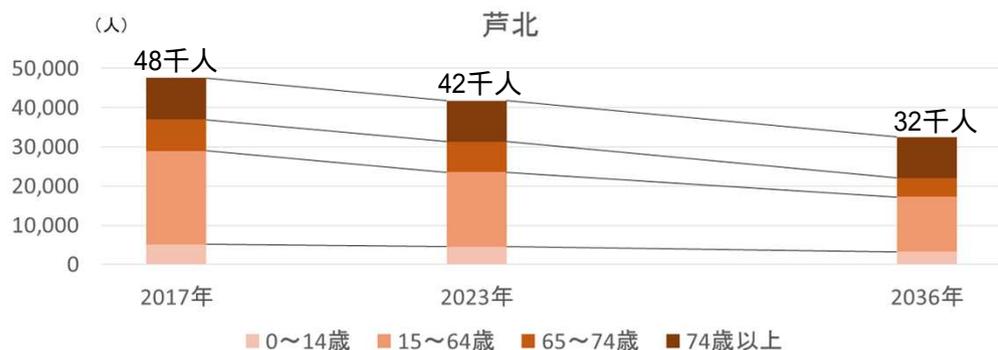
		常勤医師数		非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1 ~ H30.6.30)	
			(差)	非常勤医 の割合		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり	
規模別	病院(200床以上)	49.0	( 8.0)	4.8	9%	5,137	105 ( 2.3)	7,409	151 (+42.7)	1,380	28 ( 5.9)
	病院(200床未満)	3.3	( 2.8)	1.0	23%	320	96 ( 50.4)	354	106 ( 24.7)	44	13 ( 7.7)
	有床診療所	1.2	( 0.2)	0.2	12%	196	162 (+50.9)	127	105 ( 5.0)	13	10 (+7.9)
医療機能別	三次救急病院	-		-		-		-		-	
	二次救急病院	27.5	(+1.1)	3.6	12%	2,993	109 ( 11.8)	4,316	157 (+30.5)	775	28 ( 7.1)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.3	( 0.1)	0.2	12%	229	172 (+74.1)	149	111 ( 73.6)	15	11 (+6.9)

# < 参考 > 各圏域の現状【芦北圏域】

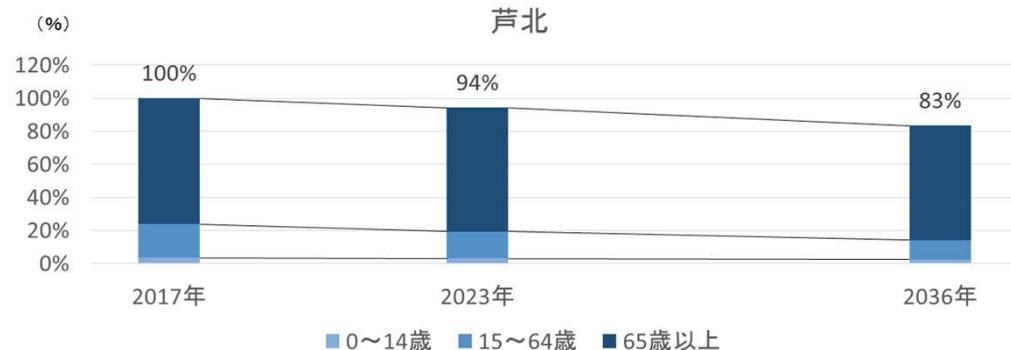
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：39%、2023年：43%、2036年：47%）

### 人口推移



### 医療需要推移



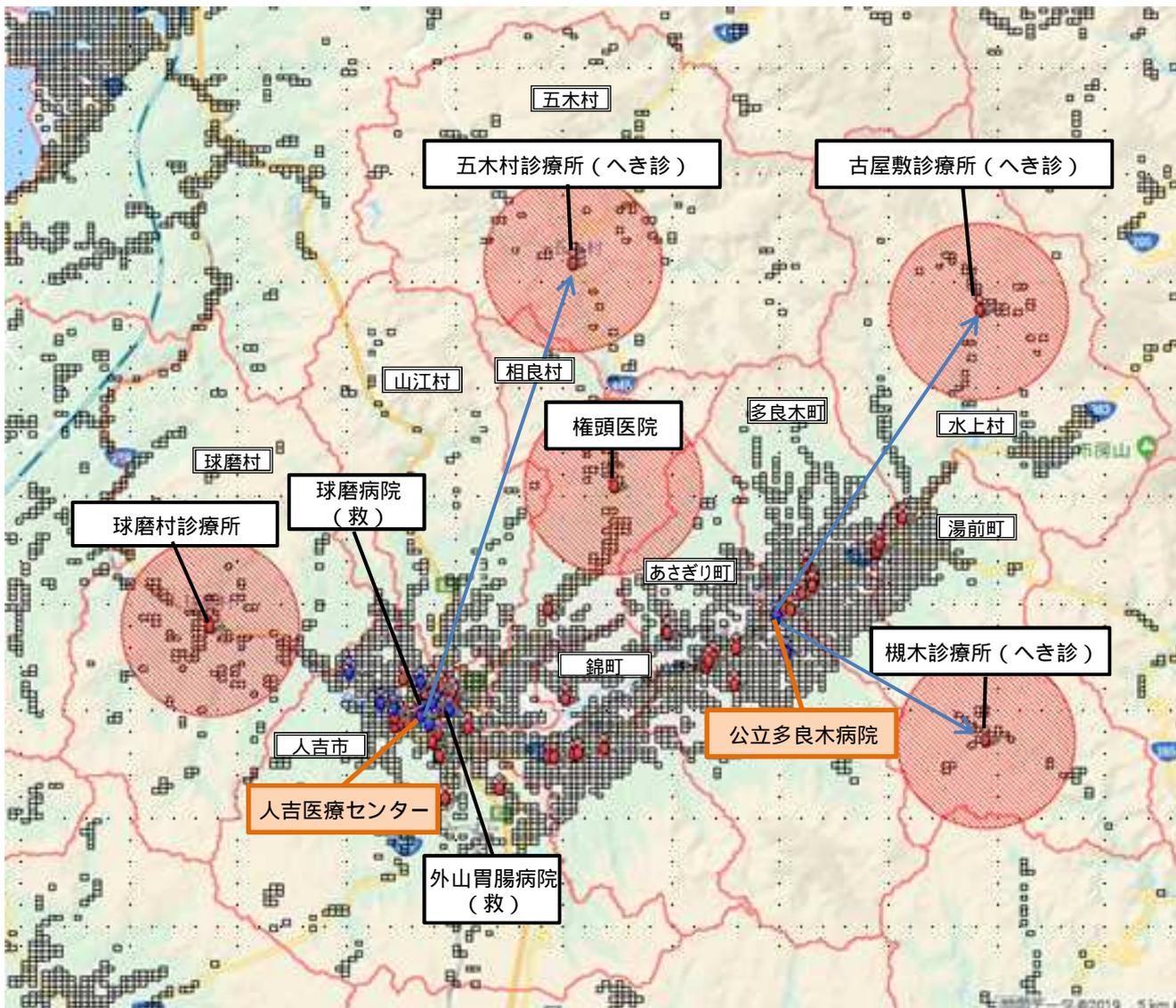
### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～14歳	5,160	11%	4,514	11%	3,306	10%
15～64歳	23,838	50%	19,078	46%	13,949	43%
65～74歳	7,943	17%	7,706	18%	4,792	15%
74歳以上	10,642	22%	10,499	25%	10,445	32%
計	47,583	100%	41,797	100%	32,492	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【球磨圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲



凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 半径4km圏内
- へき地診療所及び半径4km以内に他の医療機関がない場合に表示
- 名称 : 地域医療拠点病院
- その他、名称を記載した医療機関
  - ・ 二次救急病院
  - ・ へき地診療所
  - ・ 災害拠点病院
  - ・ 半径4km以内に他の医療機関がない医療機関
- : 医師派遣

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」により熊本県医療政策課作成】

# < 参考 > 各圏域の現状【球磨圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口 : 83,952人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
面積 : 1536.57km<sup>2</sup>  
医療機関数 : 13病院、62診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
医師数 : 176人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

(1) 人吉医療センター【252床 (一般248床、感染症4床)】

医師数 : 常勤医53人

政策医療 : 救急、災害、周産期、小児、がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、感染症

(2) 公立多良木病院【183床 (一般)】

医師数 : 常勤医14人

政策医療 : 救急、へき地

病床数 : H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
常勤医師数 : H30.7月現在。H30病床機能報告より

へき地診療所 (曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より)

(1) 槻木診療所 (火PM、金PM (第1~4週) 患者数:5.3人)

診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

(2) 古屋敷診療所 (月PM、水PM (第1~4週) 患者数:2.0人)

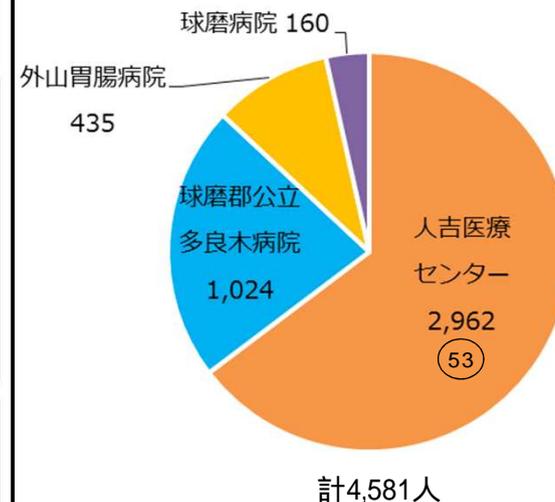
診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

(3) 五木村診療所 (月、火、木、金 患者数:34.0人)

診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

## 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: (人))



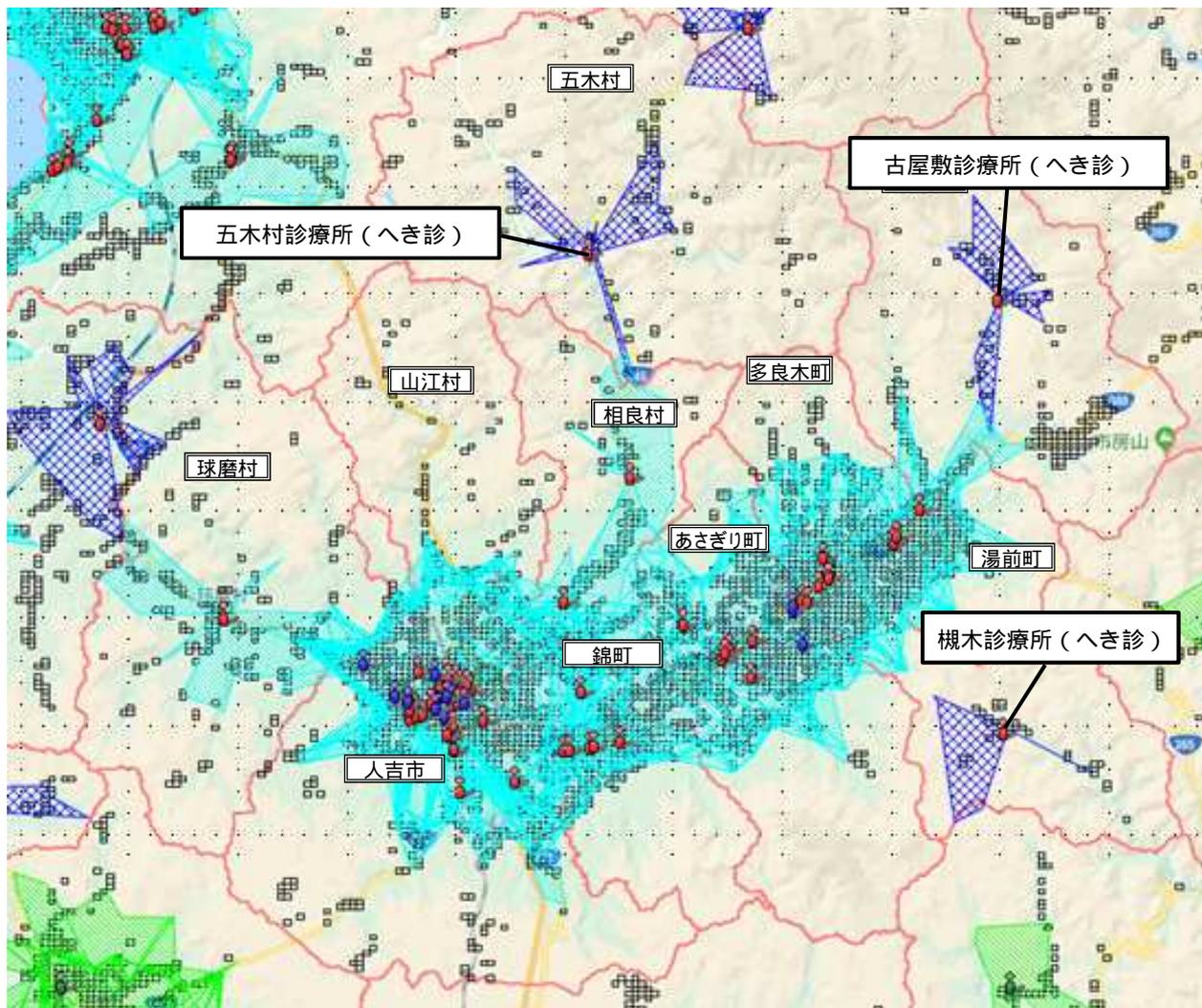
患者数 : H29.4月~H30.3月  
(厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
常勤医師数 : H30.7月現在  
(H30病床機能報告より)

## 【圏域の特徴】

- ・ 圏域面積1536.57km<sup>2</sup>、医療機関数13病院・62診療所、医師数176人。
- ・ へき地診療所 (3診療所) は他の医療機関からの医師派遣を受けている。
- ・ 人吉医療センター、公立多良木病院で二次救急患者の約8割を受け入れている。

## < 参考 > 各圏域の現状【球磨圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



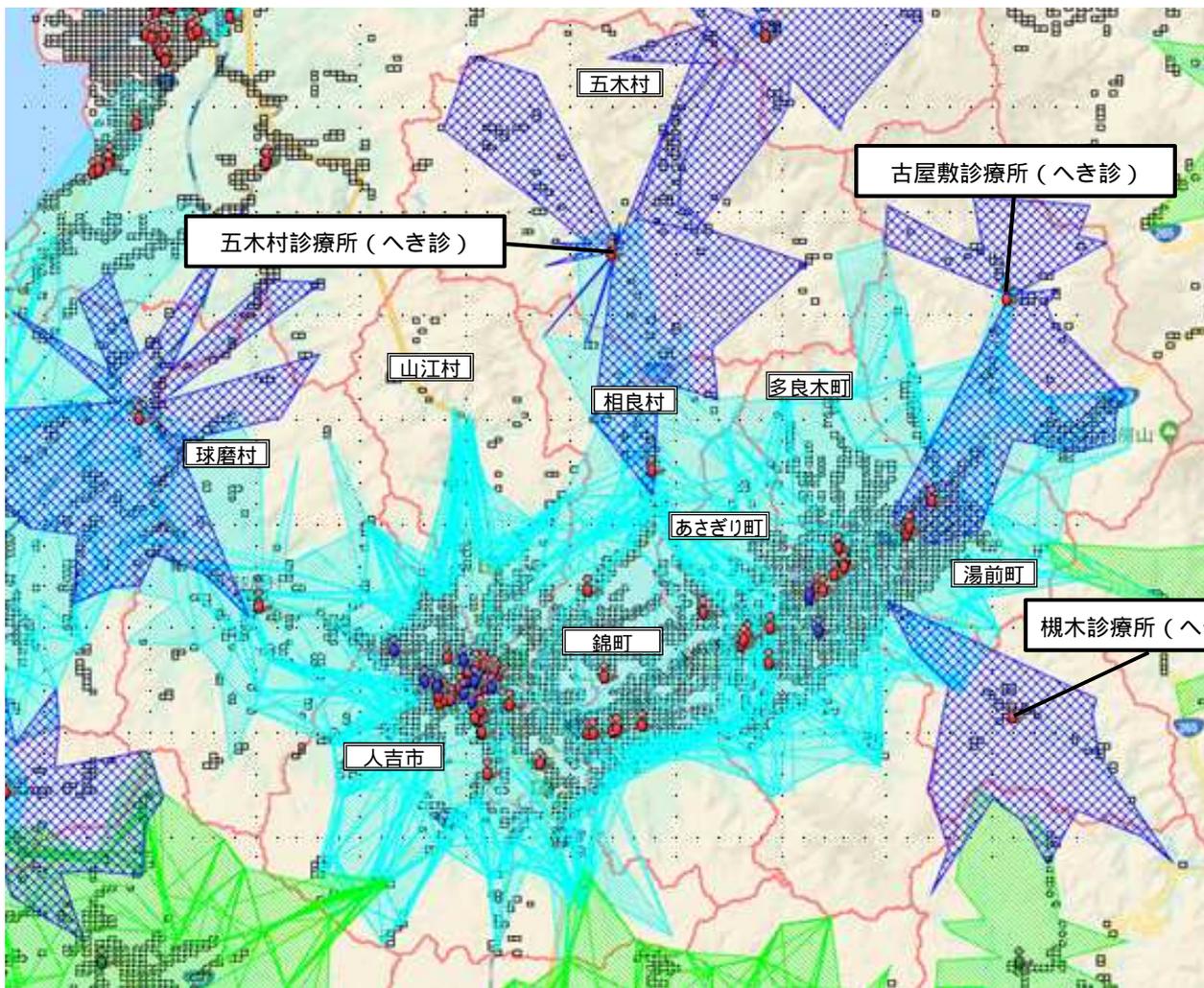
車15分では医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

## < 参考 > 各圏域の現状【球磨圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分でも医療機関を受診できない地域あり。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

## ＜参考＞各圏域の現状【球磨圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の休日・夜間患者数が少ない。

医療機関の状況【球磨圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

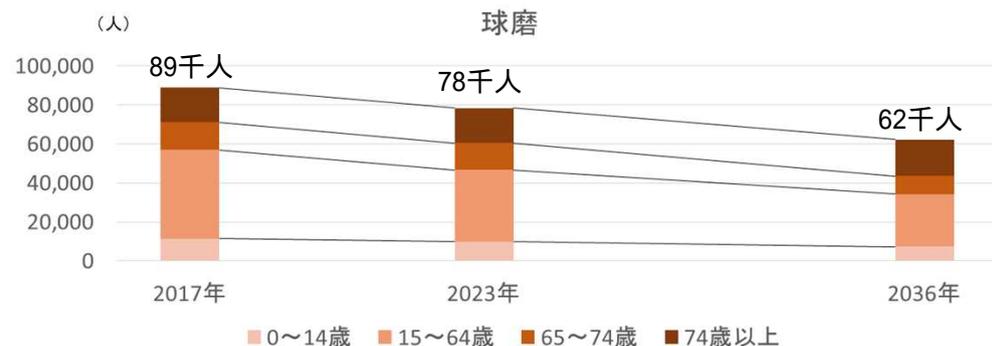
		常勤医師数		非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)	
		平均	(差)	非常勤医 の割合	平均	常勤医 一人当たり	平均	常勤医 一人当たり	平均	常勤医 一人当たり	
規模別	病院(200床以上)	53.0	( 4.0)	0.6	1%	8,271	156 (+48.9)	4,810	91 ( 17.8)	2,898	55 (+20.6)
	病院(200床未満)	4.5	( 1.6)	2.1	32%	603	134 ( 12.5)	1,348	299 (+168.4)	160	36 (+14.6)
	有床診療所	1.3	( 0.1)	0.5	26%	146	110 ( 1.2)	96	72 ( 37.9)	1	1 ( 1.5)
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二次救急病院	20.3	( 6.1)	3.6	15%	3,248	160 (+39.8)	4,478	221 (+94.7)	1,120	55 (+20.0)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.4	( 0.0)	0.6	31%	105	77 ( 20.8)	157	115 ( 69.9)	2	1 ( 2.7)

# < 参考 > 各圏域の現状【球磨圏域】

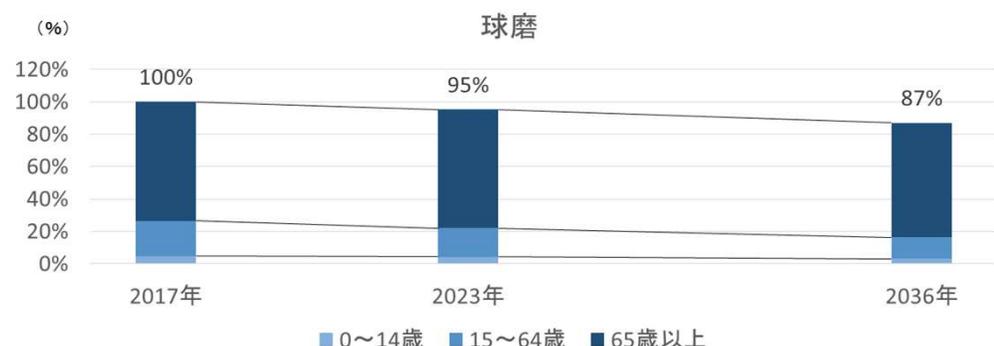
## 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：36%、2023年：41%、2036年：45%）

### 人口推移



### 医療需要推移



### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	11,398	13%	9,961	13%	7,268	12%
15～64歳	45,613	51%	36,753	47%	27,024	43%
65～74歳	14,104	16%	13,734	18%	9,183	15%
74歳以上	17,833	20%	17,970	23%	18,719	30%
計	88,948	100%	78,418	100%	62,194	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】



# < 参考 > 各圏域の現状【天草圏域】

令和元年7月2日 第1回熊本県地域医療対策協議会資料を再掲

## 【基本情報】

人口 : 109,400人 (H31.4月現在。熊本県推計人口調査より)  
 面積 : 878.35km<sup>2</sup>  
 医療機関数 : 18病院、76診療所 (H31.4月現在。医療施設一覧 (県医療政策課作成) より)  
 企業や介護老人保健施設等の施設内診療所及び健診センターを除く。  
 医師数 : 231人 (H28.12月現在。三師調査 (医療施設従事医師数) より)

### 地域医療拠点病院

(1) 上天草総合病院【195床 (一般149床、療養46床)】

医師数 : 常勤医13人

政策医療 : 救急、災害、へき地

(2) 天草地域医療センター【210床 (一般)】

医師数 : 常勤医32人

政策医療 : 救急、周産期、小児、がん、  
 脳卒中、心疾患、糖尿病

病床数 : H31.4月現在。  
 医療施設一覧 (県医療政策課作成) より  
 常勤医師数 : H30.7月現在。  
 H30病床機能報告より

へき地診療所 (曜日は診療日、患者数はH28年度の1日当たり。第7次熊本県保健医療計画より)

(1) 湯島へき地診療所 (月～金 (水は第3週のみ) 患者数:20.0人)

診療体制 : 常勤医 (水以外)、非常勤 (水)

(2) 教良木診療所 (月～水、金のAM、木 患者数17.3人)

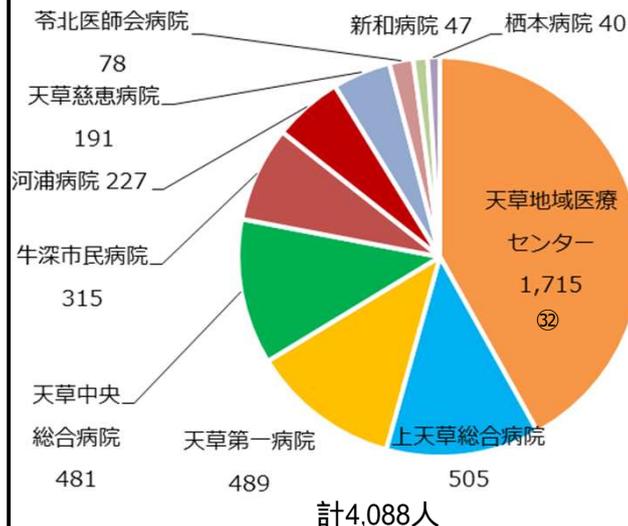
診療体制 : 非常勤医 (全診療日)

(3) 御所浦北診療所 (火PM、金 (AMは奇数月第3週のみ) 患者数23.0人)

診療体制 : 常勤医 (火PM、金PM) 非常勤医 (金AM)

## 救急搬送車による搬送受入患者数 (人)

(常勤医師数: ㊤)



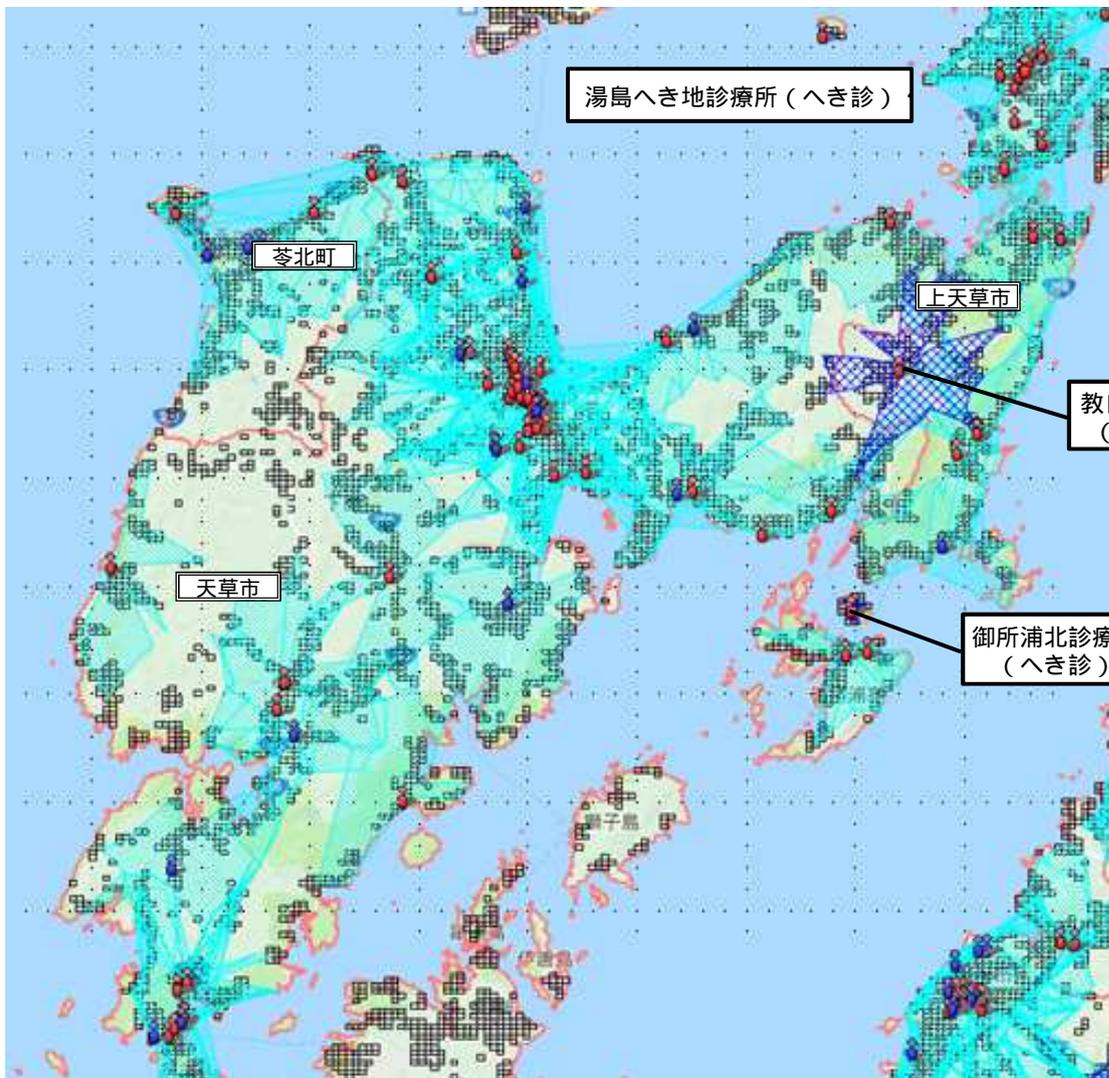
患者数 : H29.4月～H30.3月  
 (厚生労働省 救急医療提供体制の現況調べより)  
 常勤医師数 : H30.7月現在  
 (H30病床機能報告より)

## 【圏域の特徴】

- 圏域面積878.35km<sup>2</sup>、医療機関数18病院・76診療所、医師数231人。
- へき地診療所 (3診療所) は、他の医療機関からの医師派遣を受けている。
- 10の病院で二次救急患者を受け入れている。

## < 参考 > 各圏域の現状【天草圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車15分圏内)



車15分では医療機関を受診できない地域あり。

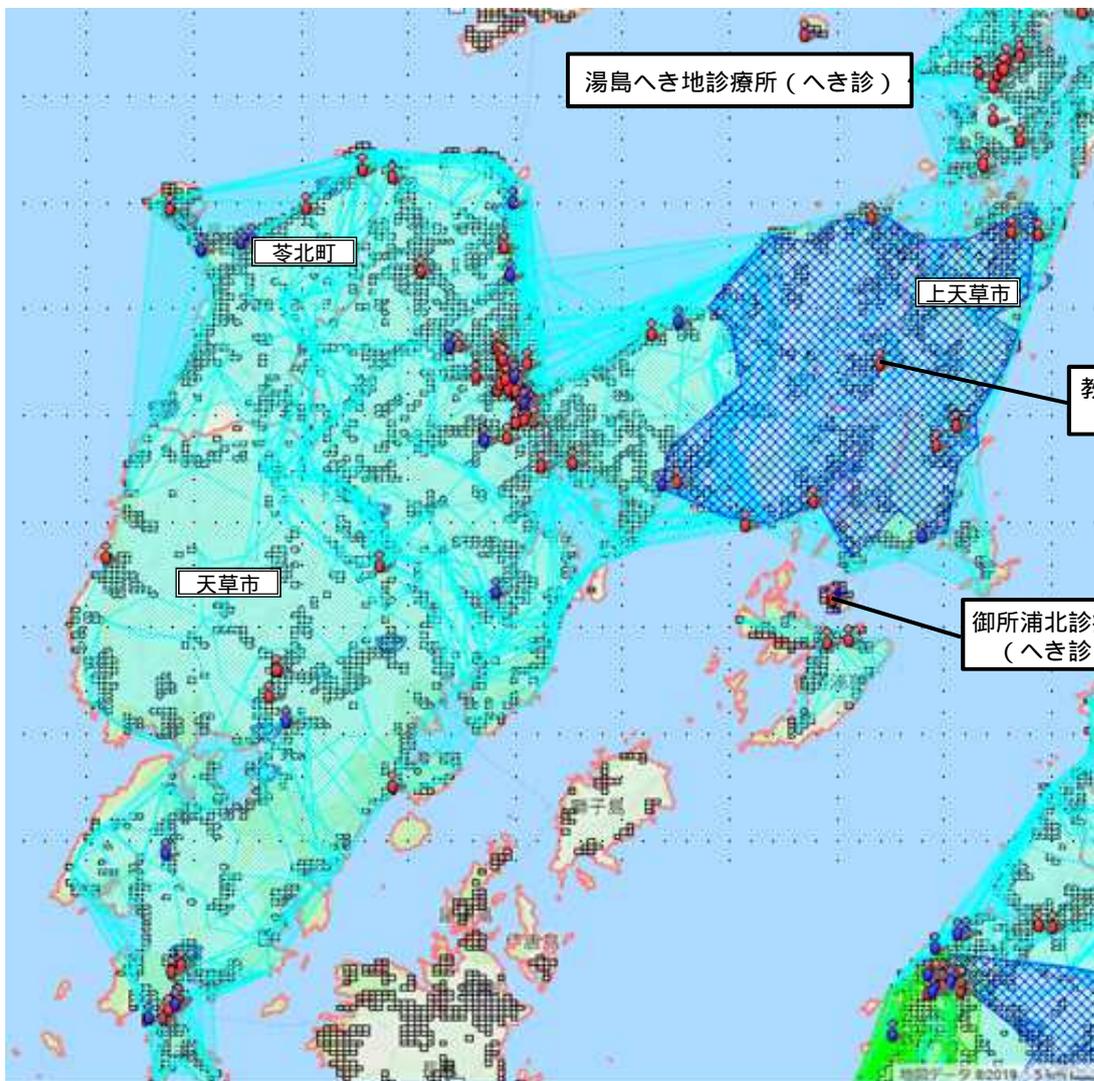
#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス15分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス15分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」  
により熊本県医療政策課作成】

## < 参考 > 各圏域の現状【天草圏域】

### 医療機関へのアクセスの状況(車30分圏内)



車30分ではほとんどの住民が医療機関を受診可能。

#### 凡例

- : 病院
- : 診療所
- : 医療機関(他県)
- : へき地診療所からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(へき地診療所以外)からアクセス30分圏内(車)
- : 医療機関(他県)からアクセス30分圏内(車)
- : 人口分布

【総務省統計局「地図で見る統計(jSTAT MAP)」  
により熊本県医療政策課作成】

## ＜参考＞各圏域の現状【天草圏域】

### 医師の勤務状況(医療機関規模・医療機能別)

- 県全体の平均と比較して、二次救急病院の常勤医師数が少なく、常勤医1人当たりの新規入院患者数、休日・夜間患者数、救急車受入件数が多い。
- 県全体の平均と比較して、休日・夜間に対応可能な診療所の休日・夜間患者数が多い。

医療機関の状況【天草圏域・1医療機関当たり平均】(括弧内は県全体の1医療機関当たり平均との差)

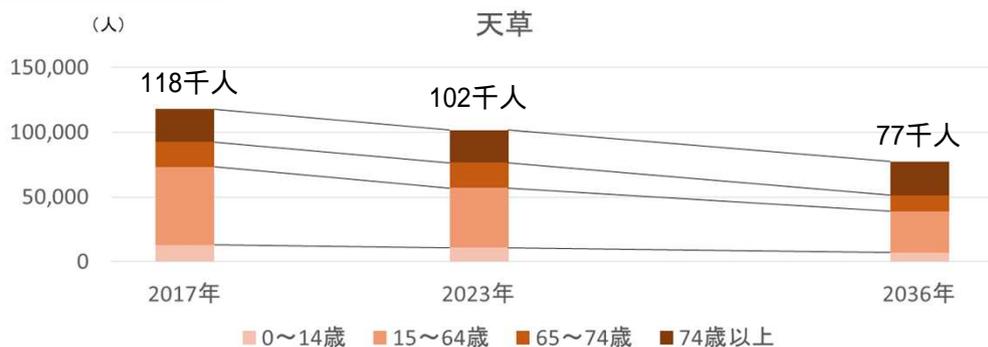
		常勤医師数		非常勤医師数 (常勤換算後)		新規入院患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		休日・夜間患者数 (H29.7.1～H30.6.30)		救急車受入件数 (H29.7.1～H30.6.30)	
			( )		非常勤医 の割合		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり		常勤医 一人当たり
規模別	病院(200床以上)	19.5	( 37.5)	1.4	7%	2,820	145 (+37.4)	24	1 ( 107.3)	863	44 (+10.1)
	病院(200床未満)	6.5	(+0.4)	2.7	29%	907	140 ( 6.9)	1,432	220 (+89.3)	199	31 (+9.6)
	有床診療所	1.3	( 0.1)	0.0	3%	87	67 ( 44.3)	162	124 (+14.0)	2	1 ( 1.1)
医療機能別	三次救急病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二次救急病院	9.8	( 16.6)	2.9	23%	1,519	155 (+34.4)	1,684	172 (+45.4)	406	41 (+6.1)
	休日・夜間に対応可能な診療所	1.4	(+0.0)	0.1	4%	72	51 ( 47.2)	301	211 (+25.5)	3	2 ( 1.8)

## < 参考 > 各圏域の現状【天草圏域】

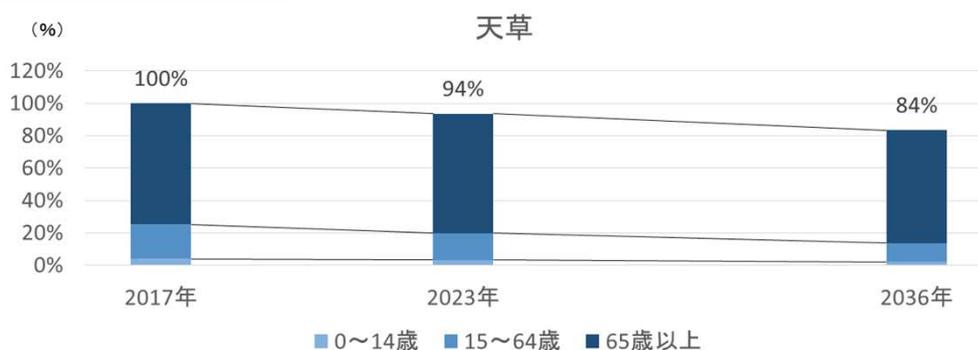
### 人口・医療需要の推計

- 2036年に向けて、人口・医療需要ともに減少傾向
- 人口に占める65歳以上の割合は増加傾向（2017年：38%、2023年：44%、2036年：49%）

#### 人口推移



#### 医療需要推移



#### 年齢別人口推移

年齢	2017年		2023年		2036年	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
0～14歳	13,023	11%	10,877	11%	7,279	9%
15～64歳	60,164	51%	46,284	46%	31,729	41%
65～74歳	19,319	16%	19,301	19%	12,526	16%
74歳以上	25,391	22%	25,093	25%	25,811	33%
計	117,896	100%	101,555	100%	77,345	100%

【厚生労働省「平成30年度医師偏在指標作成支援データ集」を基に熊本県医療政策課作成】